

中学校区別ワークショップ

報告書

令和3年(2021年)

八王子市



目 次

1 ワークショップの概要	1
(1)目的	1
(2)実施単位	1
(3)参加者数及び参加団体等	1
(4)従事者	1
(5)実施期間等	1
(6)実施方法	1
(7)検討内容	1
(8)開催日程等.....	4
(9)本市の6圏域と中学校区	5
(10)ワークショップの様子	6
2 総括	7
(1)本市を取り巻く社会背景と地域課題	7
(2)地域づくり推進事業における中学校区別ワークショップの位置付け	7
(3)地域のありたい姿の傾向	7
(4)地域のありたい姿の実現に向けて必要なことの傾向	8
(5)地域のありたい姿の実現に向けて必要なことの分類・整理	9
(6)これからの地域づくりに向けて	10
(7)6圏域ごとの傾向	11
3 検討内容のまとめ	14
(1)整理概要	14
(2)整理方法	15
(3)地域のありたい姿	16
(4)地域のありたい姿の実現に向けて必要なこと(主な意見)	21
4 中学校区別の検討結果	29
5 長期ビジョンの策定に向けて	104

1 ワークショップの概要

(1) 目的

地域が主体的に地域の魅力や課題を把握し、地域課題の解決などのために協働していく「地域づくり」の気運醸成と、本市の最上位計画として策定する2040年を展望した「長期ビジョン」に地域の声を反映するため、ワークショップを開催しました。

(2) 実施単位

市内37中学校区

(3) 参加者数及び参加団体等

- ・延べ参加者数：653名（第1回：346名、第2回：307名）
- ・参加団体等
町会自治会連合会、住民協議会、学校運営協議会、民生委員児童委員協議会、青少年対策地区委員会、福祉ボランティア団体、市民活動協議会、国際協会
障害者団体連絡協議会、商工会議所、青年会議所、環境市民会議会員、地球温暖化防止活動推進委員、小・中学校PTA、無作為抽出市民、公募市民

(4) 従事者

- ・庁内プロジェクトチーム（名称：八王子地域PAL-ETTE（パレット））構成員
- ・高齢者あんしん相談センター ・社会福祉協議会 ・第1層生活支援コーディネーター

(5) 実施期間等

- ・実施期間：令和2年（2020年）12月6日～令和3年（2021年）7月18日
- ・開催回数：26回
- ・開催場所：各地区の市民センター、小学校 等

(6) 実施方法

- ・37中学校区を13グループに分け、各グループ2回実施。
- ・1会場につき2～3の中学校区が参加し、1つの中学校区を1～2テーブルに分け、1テーブルあたり3～8名が対面形式で実施。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、受付時の検温や体調確認、こまめな消毒、換気、飛沫感染防止パネルの設置、一部オンラインでの参加などの対応を行いました。

(7) 検討内容

ア 第1回

自分が思う「豊かな理想の暮らし」のイメージと、自分が設定した人物像が思う「豊かな理想の暮らし」のイメージを話し合うことで、様々な世代が豊かに暮らせる「未来のありたい姿」について、テーマやキーワードを抽出しました。

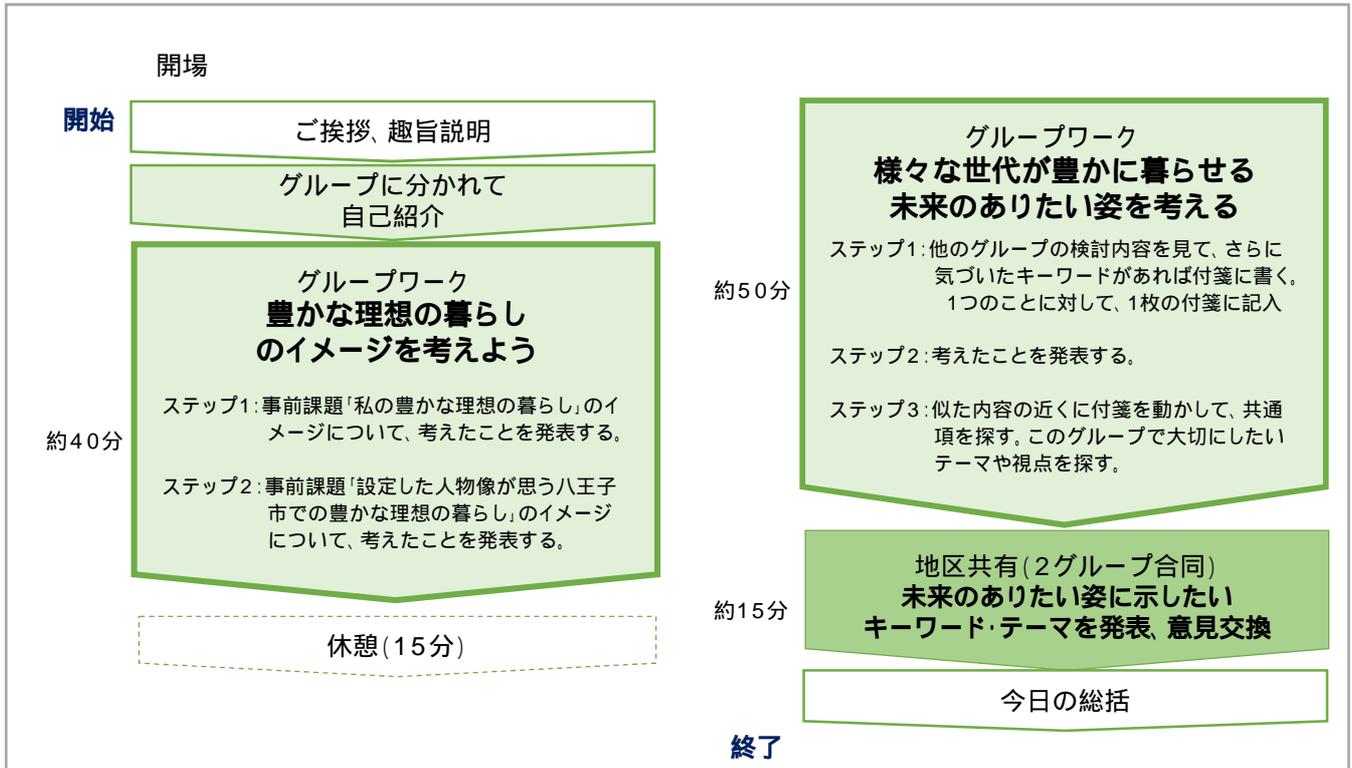
イ 第2回

第1回を踏まえ、地域のありたい姿の実現に向け「自分たちができること」「地域と行政が協働でできること」などを検討し、「地域主体」か「行政主体」か、「すぐにできる」か「時間がかかる」かの2つの軸に配置しながら、地域のありたい姿とその実現に向けて必要なことを整理しました。

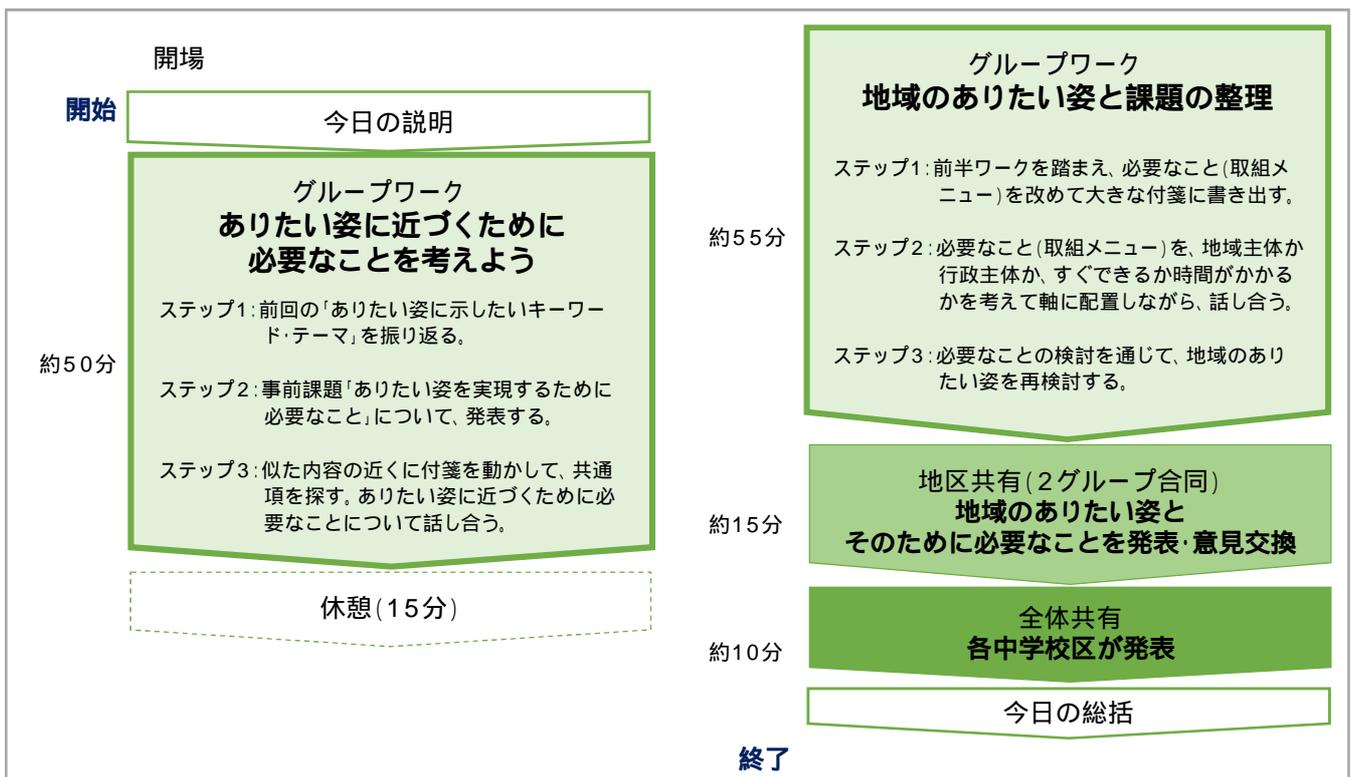
ウ 検討プロセス

本ワークショップは、以下の内容で行いました。
検討プロセスは、参加者に配布した資料を基に掲載しています。

第1回



第2回



第1回 事前課題

別紙2 ■私のわくわくワークシート

- 八王子市内（駅前、駅前街、住居地、ニュータウン、丘陵地、高尾山や八王子城付近など）で、あなた自身が「**好きな地域の暮らし**」のイメージを思い描いてください。
- いますぐ実現は難しくても、八王子市が20年後あるいは将来こうなったらいいなという夢や理想をお書きください。

書いていただく内容は「良い/悪い」「正解/不正解」はありません。自分自身で思ふことを自由に書きください。

八王子市でこんな生活が送れたら、豊かに暮らせる・・・

以下の例のように、考えたことを付箋にお書きください。
付箋1枚につき1つの内容を書くようにしてください。

(例)

子どもから大学生まで、若者と話せる交流の機会がある

■なりきりわくわくワークシート

- 八王子市に暮らす人物像（自分とは異なる立場の人）を仮定して、その人物になったつもりで、「八王子市での豊かな理想の暮らし」のイメージを思い描いてください。
- 例えば、子ども、大学生、フレッシュマン世代、子育て世代、シニア世代などが考えられます。より想像力を働かせるために、具体的な年齢や職業、結婚の有無、子どもの有無、生んでいる場所、性格など、自由に設定してください。
- いますぐ実現は難しくても、設定した人物像によって、八王子市が20年後あるいは将来こうだったらいいなという夢や理想をお書きください。

書いていただく内容は「良い/悪い」「正解/不正解」はありません。自分自身で思ふことを自由に書きください。

設定した人物像

(例) 働く子育てママ

その人物になりきると、八王子市でこんな生活が送れたら、豊かに暮らせる・・・

以下の例のように、設定した人物像を明記のうえ、考えたことを付箋にお書きください。付箋1枚につき1つの内容を書くようにしてください。付箋ごとに設定した人物像を明記してください。

(例)

【働く子育てママ】
息抜きができるように子どもを安心して預けられる場所がある

【市外から通学する大学生】
キャンパス以外にも仲間(特に地域の人)を増やす場がある

【一人暮らしの高齢者】
自動運転の車が目的地まで連れて行ってくれる

ワークショップ当日は、「記入いただいた付箋をお持ちください。付箋への記入は、サインペンなど、なるべく大きくはっきり見えるように書いてください。付箋は何枚書いても構いません。」

第2回 事前課題

■地域のありたい姿に近づくために必要なことを考えるワークシート

- 第1回目のワークショップでは、地域のありたい姿として大切にしたいテーマや視点を話し合いました。
- 第2回目のワークショップでは、ありたい姿に近づくために必要なことを考えます。テーマ集も参考にしたが考えてみてください。

地域のありたい姿として大切にしたいテーマ・視点(第1回を振り返って設定)

ありたい姿を実現するために、何ができていないだろう？

(変えたいこと、新しくやること、環境が整うとよいこと・・・)

- 上に書いたテーマに対して、その姿に近づくために必要なことをいくつか付箋に書いてください。
- 付箋の頭に、設定した「ありたい姿として大切にしたいテーマ・視点」を書いてから、内容を書いてください。
- 「ありたい姿として大切にしたいテーマ・視点」が複数ある場合は、それぞれのテーマ・視点に応じて、必要だと思うことを書いてください。

(例)

【若者が魅力を感じて住みたくなるまち】
新しく住み始めた人が地域のコミュニティに参加しにくい雰囲気がある

【子どもからお年寄りまで交流が自然にうまれる】
そもそもそのような機会・イベントや場所が少ない



ワークショップ当日は、「記入いただいた付箋をお持ちください。付箋への記入は、サインペンなど、なるべく大きくはっきり見えるように書いてください。付箋は何枚書いても構いません。」

書いていただく内容は「良い/悪い」「正解/不正解」はありません。自分自身で思ふことを自由に書きください。

(8) 開催日程等

グループ	開催日	会場	参加者数		
			校区		
1グループ	令和2年(2020年) 12月6日(日)	川口市民センター	第二中学校区	8名	7名
	令和3年(2021年) 4月17日(土)	市役所	川口中学校区 檜原中学校区	16名 14名	13名 11名
2グループ	令和2年(2020年) 12月6日(日)	南大沢市民センター	南大沢中学校区	12名	13名
	令和3年(2021年) 4月17日(土)	南大沢小学校	宮上中学校区 鎌水中学校区	7名 6名	7名 5名
3グループ	令和2年(2020年) 12月20日(日)	長房市民センター	長房中学校区	12名	10名
	令和3年(2021年) 4月17日(土)	市役所	陵南中学校区	8名	5名
4グループ	令和3年(2021年) 4月4日(日)	教育センター	第六中学校区	9名	9名
	令和3年(2021年) 6月27日(日)	教育センター	第七中学校区 横山中学校区	9名 7名	5名 7名
5グループ	令和3年(2021年) 4月4日(日)	北野市民センター	打越中学校区	13名	7名
	令和3年(2021年) 6月27日(日)	北野市民センター	中山中学校区 いずみの森義務教育学校区	10名 12名	8名 10名
6グループ	令和3年(2021年) 6月26日(土)	浅川小学校	館小中学校区	8名	9名
	令和3年(2021年) 7月11日(日)	横山南市民センター	梶田中学校区 浅川中学校区	10名 8名	10名 7名
7グループ	令和3年(2021年) 6月26日(土)	秋葉台小学校	松が谷中学校区	7名	7名
	令和3年(2021年) 7月11日(日)	南大沢市民センター	別所中学校区 松木中学校区	10名 8名	10名 7名
8グループ	令和3年(2021年) 4月11日(日)	由木中央市民センター	由木中学校区	14名	9名
	令和3年(2021年) 7月10日(土)	愛宕小学校	上柚木中学校区	7名	7名
9グループ	令和3年(2021年) 4月11日(日)	大和田市民センター	第一中学校区	10名	7名
	令和3年(2021年) 7月10日(土)	第四小学校	第五中学校区 ひよどり山中学校区	14名 9名	8名 6名
10グループ	令和3年(2021年) 4月18日(日)	加住市民センター	石川中学校区	8名	5名
	令和3年(2021年) 7月17日(土)	中野北小学校	甲ノ原中学校区 加住小中学校区	8名 8名	7名 7名
11グループ	令和3年(2021年) 4月18日(日)	由井市民センター	由井中学校区	9名	8名
	令和3年(2021年) 7月17日(土)	片倉台小学校	みなみ野小中学校区 七国中学校区	13名 5名	11名 8名
12グループ	令和3年(2021年) 7月3日(土)	市役所	第四中学校区	7名	9名
	令和3年(2021年) 7月18日(日)	元八王子市民センター	四谷中学校区 横川中学校区	7名 8名	10名 8名
13グループ	令和3年(2021年) 7月3日(土)	元八王子小学校	元八王子中学校区	9名	10名
	令和3年(2021年) 7月18日(日)	恩方市民センター	城山中学校区 恩方中学校区	8名 8名	9名 11名

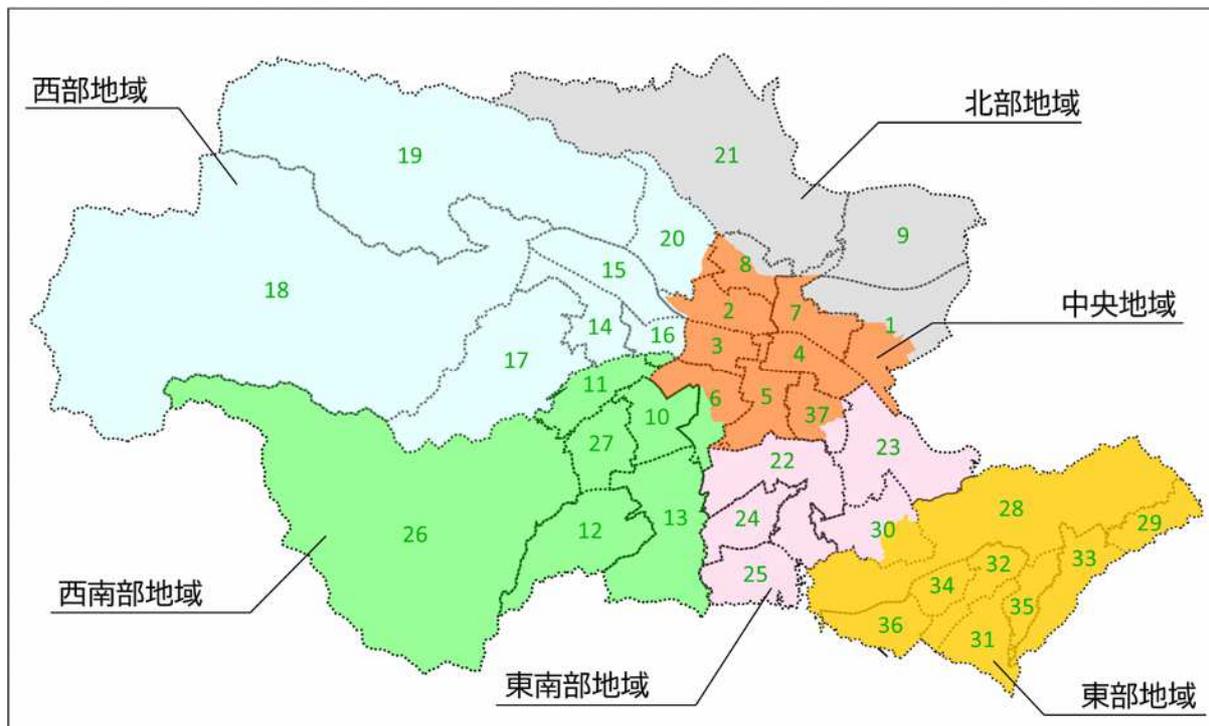
(9) 本市の6圏域と中学校区

本市では、平成25年(2013年)に策定した八王子市基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」において、本市の様々な特長を活かしたまちづくりをすすめる観点から、市域を以下の6つに区分し、市民と行政との協働により八王子のまちづくりを行うことを基本方針としています。

地域づくりでは、地域課題を共有し、合意形成を図り解決していく単位として、地域の拠点となる施設への移動時間や移動方法も考慮し、日常生活において顔の見える関係性をつくりやすい「中学校区」を基礎単位としています。

ワークショップでは、中学校区を単位に開催し、検討結果を「市全体」「6圏域」「中学校区」で整理しました。

6圏域と中学校区



中央地域		西部地域		西南部地域		東部地域	
2	第二中学校区	14	元八王子中学校区	10	横山中学校区	28	由木中学校区
3	第四中学校区	15	四谷中学校区	11	長房中学校区	29	松が谷中学校区
4	第五中学校区	16	横川中学校区	12	館小中学校区	30	中山中学校区
5	第六中学校区	17	城山中学校区	13	櫛田中学校区	31	南大沢中学校区
6	第七中学校区	18	恩方中学校区	26	浅川中学校区	32	宮上中学校区
7	ひよどり山中学校区	19	川口中学校区	27	陵南中学校区	33	別所中学校区
8	甲ノ原中学校区	20	檜原中学校区	東南部地域		34	上柚木中学校区
37	いずみの森義務教育学校区			22	由井中学校区	35	松木中学校区
北部地域				23	打越中学校区	36	鑓水中学校区
1	第一中学校区			24	みなみ野小中学校区		
9	石川中学校区			25	七国中学校区		
21	加住小中学校区						

(10) ワークショップの様子



川口市民センター



北野市民センター



教育センター



中野北小学校



南大沢市民センター



横山南市民センター

2 総括

ワークショップは、「地域づくり推進事業」と「長期ビジョンの策定」の合同事業として、本市の全37中学校区において実施し、延べ653人の参加者によって、「地域のありたい姿」と「地域のありたい姿の実現に向けて必要なこと」を検討テーマに議論が行われました。取りまとめられた「地域のありたい姿」は65件、「地域のありたい姿の実現に向けて必要なこと」は1,075件に及びました。

ここでは、ワークショップにおける検討結果について、検討テーマごとに傾向を整理し、今後の本市における地域づくりを展望します。

(1) 本市を取り巻く社会背景と地域課題

本市では、現在の状況が続くと、人口の減少、少子高齢化の進行により、2040年の総人口は48万人を下回り、高齢者人口がピークに達するとともに、生産年齢人口は減少することが推計されています。また、単身世帯や夫婦のみの世帯の増加などによる家族形態の変容、コロナ禍も相まって、価値観やライフスタイルも変化しており、地域において解決に取り組んでいくべき課題も多様化・複合化しています。加えて、近年多発する自然災害への備えなど、地域における防災力の向上なども重要な地域課題となっています。

(2) 地域づくり推進事業における中学校区別ワークショップの位置付け

本市では、そうした社会背景と地域課題を踏まえ、地域住民や活動団体による地域活動を支援するとともに、地域と行政との連携による取組を進めてきました。本市が取り組む「地域づくり」とは、これら地域の取組をより充実させるために、地域が主体的に地域の魅力や課題を把握し、地域課題の解決などのために協働していくしくみを構築するものです。

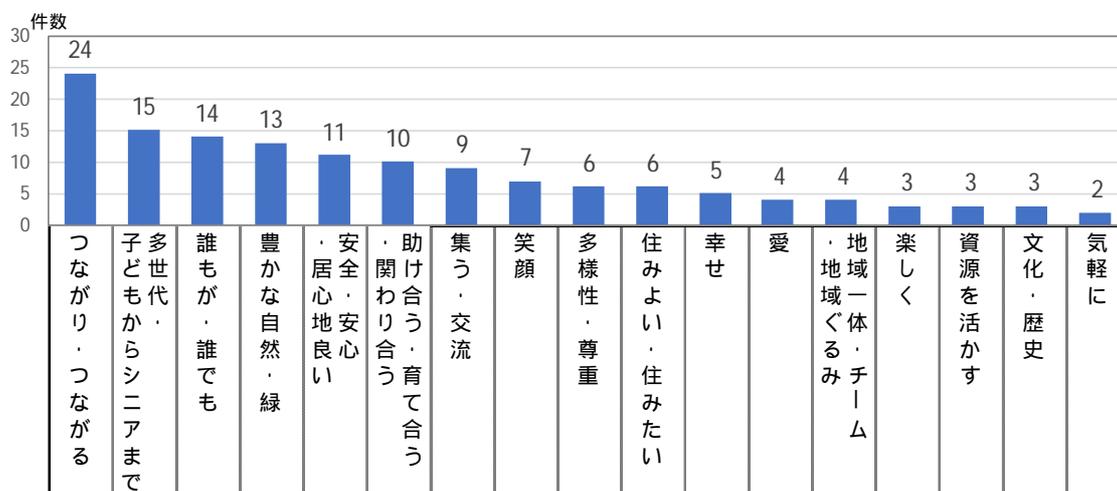
広大な市域を有し、地域ごとに地理的条件、歴史や文化について様々な地域特性を持つ本市では、そうした多様な地域ごとの課題を把握し、地域の実情に合わせて課題解決を図るための「地域づくり」への取組が求められています。ワークショップは、その「地域づくり」のための第一歩として位置付けています。

(3) 地域のありたい姿の傾向

ワークショップでは、「地域のありたい姿」として「つながり・つながる」、「多世代・子どもから高齢者まで」や「誰もが・誰でも」がキーワードとして多く挙げられました。人口減少、少子高齢化が進み、地域活動の担い手の確保が難しくなる中で、これまで活躍されてきた地域住民や既存の活動団体が連携して取り組むだけでなく、そこに若い世代も含めた多世代の地域住民、活動団体、地域の事業者や大学なども関わり、地域が一体となって、暮らしをより良いものにしていきたいという思いが語られました。

また、「豊かな自然・緑」について、自然の地形や里山の歴史を継承した特徴的な公園や大小様々な河川など、身近な自然環境を守り育てることで生まれる地域への愛着、そして自然豊かな地域への誇りをこれからも大切にしていきたいという思いも多くの中学校区で語られました。その他に多かったキーワードは、「安全・安心・居心地良い」、「助け合う・育て合う・関わり合う」、「集う・交流」などでした。

地域のありたい姿に使用された主なキーワードの件数



(4) 地域のありたい姿の実現に向けて必要なことの傾向

「地域のありたい姿の実現に向けて必要なこと」は、各中学校区において地域特性を反映し、多岐にわたる議論が行われました。

その中で最も多かったのが、「地域コミュニティ」や「交流の場」に分類されるものでした。まず、多くの中学校区で議論されたのは、各地域の地域活動を参加しやすいものにするための方法やゆるやかな地域のつながりについてでした。次に、議論されたのは、地域活動に参加するきっかけとして多世代が交流し、つながることができる地域イベント(お祭り、地域運動会、フリーマーケット、マルシェなど)の継承と新たな企画、地域への理解を深めるための地域資源マップの作成などでした。特に、多世代の交流については、子どもと高齢者の交流や大学生と地域住民の交流機会を増やしたいとの声が多くありました。そうしたことの実現のために、話し相手がいる場所、日常的に立ち寄ることができる地域サロンなどのニーズが高く、身近な施設である学校の空き教室を活用することについての意見もありました。また、「地域コミュニティ」、「交流の場」の分類に関連して、地域における「意見交換の場」として、住民同士の議論の場を求める声も聞かれ、住民主体での地域づくりに対する関心の高さがうかがえました。

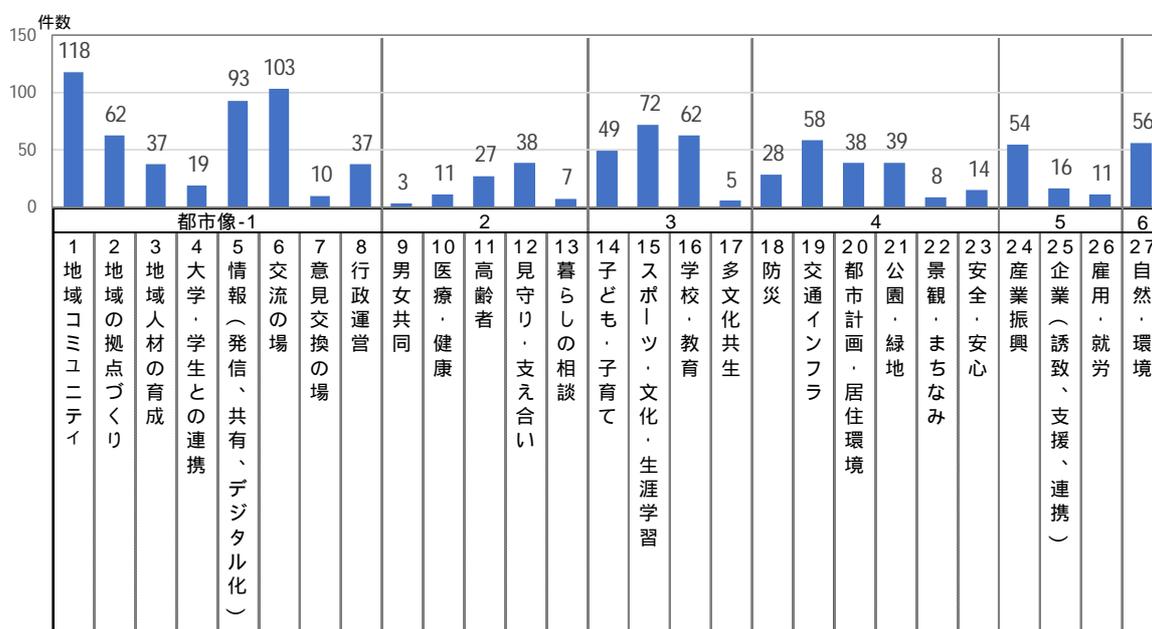
その他、多かった意見は、「情報(発信、共有、デジタル化)」、「スポーツ・文化・生涯学習」、「地域の拠点づくり」、「学校・教育」に関するものでした。

ワークショップで挙げられた地域のありたい姿の実現に向けて必要なことの 分類別件数(全件数:1,075件)

ワークショップにおいて議論された「地域のありたい姿の実現に向けて必要なこと」を、八王子ビジョン2022における6つの都市像に対応する形で、27の分野に分類しています。

【都市像】

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 みんなで担う公共と協働のまち | 4 安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち |
| 2 健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち | 5 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち |
| 3 生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち | 6 一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち |



(5) 地域のありたい姿の実現に向けて必要なことの分類・整理

「地域のありたい姿の実現に向けて必要なこと」は、地域課題の解決に向けた取組についての「取組主体」と「時間的要素」を共有するため、その取組が「地域主体」か「行政主体」か(取組主体の軸)、また、「すぐにできる」か「時間がかかる」か(時間の軸)の2つの軸で分類し、整理しました。

まず、「地域主体」か「行政主体」かの分類については、多くの中学校区において、「地域主体」に分類される件数が、「行政主体」に分類される件数を大きく上回りました。ワークショップ参加者の多くが、地域課題の解決に主体的に取り組もうとする意識の高さが表れた結果となりました。

次に、「すぐにできる」か「時間がかかる」かの分類については、「すぐにできる」に分類される件数が、「時間がかかる」に分類される件数より多くなりました。

「すぐにできる」に分類されたものについては、あいさつの推進、地域内の参加しやすい各種イベントの開催、地域の清掃や緑化活動といった既存活動の充実などのソフト面に関するものが多く挙げられました。「時間がかかる」に分類されたものは、交通インフラ、公園、河川、広場、公共施設の整備などのハード面に関するものが多く挙げられました。

「すぐにできる」についての分類からは、身近な地域の取組を地域主体でより持続的かつ発展的なものにしていこうという積極的な姿勢が示されました。一方で、「時間がかかる」についての分類からは、大規模なものや財政的なコストを要するものとして、その実現に向けて時間がかかるという一定の理解が共有されているとともに、行政への期待が表れたものとなりました。

特に、「すぐにできる」についての内容からは、高齢者の見守りや買い物支援、ひとり親世帯などの子どもの放課後の居場所、まちの活気や防犯面など様々な問題に結びつく空き家対策に関する事など、地域における重要度や緊急度が高いと考えられている地域課題に関することが多く挙げられました。

(6) これからの地域づくりに向けて

「地域のありたい姿」としては、「つながり」や「多世代」などが地域にとって共通した重要なキーワードになりました。一方で、「地域のありたい姿の実現に向けて必要なこと」の議論においては、各中学校区において、その取組主体となる地域住民や活動団体に加え、地理的要因、歴史的要因、人口構造、その他様々な地域特性を反映して、多様な議論が展開されました。

「地域のありたい姿」は、多くの部分が共通していますが、その実現に向けて必要なこと、地域ごとのその実現のためのアプローチは、地域の実情によって、多様であり、取組を進めていくためには、市域一律の行政サービスの提供だけではなく、地域主体の取組が必要です。

ワークショップ開催期間中は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が断続的に発令され、その開催も度重なる延期を余儀なくされました。しかし、コロナ禍にあっても、多くの皆様に地域への思いや地域の未来について、闊達に議論を交わしていただきました。

ワークショップを終えて、本市ではすべての中学校区において、課題解決等に向けた地域づくり推進会議の設置を目指しています。今後、このワークショップをその第一歩として、地域づくりの取組を展開していきます。

(7) 6圏域ごとの傾向

6圏域については、5ページの「本市の6圏域と中学校区」を参照。

ア 中央地域（第二中学校区、第四中学校区、第五中学校区、第六中学校区、第七中学校区、ひよどり山中学校区、甲ノ原中学校区、いずみの森義務教育学校区）

中央地域は、交通の要衝であるとともに、八王子駅などを中心に商業などが集積する中心拠点であるほか、八王子まつりなど、古くからの歴史や文化を有しています。人口割合は、生産年齢人口割合が高く、年少人口割合が低い地域です。

ワークショップでは、「交流の場」や「子ども・子育て」に関する意見が多く挙げられました。旧住民と新住民、子どもから高齢者といった世代や立場を超えた活動が少ないことから、地域イベントの開催や既存施設を活用した誰もが集える居場所の整備をきっかけとして、ゆるやかにつながることを重視していました。子どもや子育て世代に関する課題意識もあり、子ども会の活性化や親の交流機会の拡充によって、身近で助け合える環境を作りたいとの意見も挙げられていました。

このほか、「見守り・支え合い」や「防災」への関心が高かったほか、地域での関わりが少ないことから、今後、高齢人口が増えた際にも孤独感なく生活でき、助け合える地域にしていきたいとの意見がありました。また、あいさつによる顔の見える関係づくりや災害弱者のサポート体制の構築など、災害を見据えた取組をしていきたいとの声もありました。



イ 北部地域（第一中学校区、石川中学校区、加住小中学校区）

北部地域は、主要な幹線道路が結節する広域的な交通の要衝となっているほか、北八王子駅周辺には、本市を代表する先端技術産業が集積しています。また、地域内には、スポーツを行える場として「滝が原運動場」や、農産物の地産地消の場である「道の駅八王子滝山」も立地しているほか、都内最大の田園が広がっており、養蚕農家による繭の生産・出荷も続いています。人口割合は、年少人口・生産年齢人口・老年人口におけるそれぞれの割合が、市全体の平均と同様の傾向となる地域です。

ワークショップでは、「自然・環境」に関する意見が多く挙げられ、里山の保全、自然体験の機会創出など、自然を活かした暮らしを望む声がありました。また、「交通インフラ」についての意見も多く、交通の利便性に関する課題を感じていました。その他、「産業振興」への関心も高く、



農業と観光を絡めた集客や、高齢者の働ける地場野菜を使った地域食堂など、農業と福祉を絡めた取組も挙げられていました。

ウ 西部地域 (元八王子中学校区、四谷中学校区、横川中学校区、城山中学校区、恩方中学校区、川口中学校区、檜原中学校区)

西部地域は、西側の大部分が市街化調整区域となっており、水辺や広大な山林など豊かな自然を有しているのが特徴です。また、八王子城跡や八王子車人形など、歴史文化資源が多く存在しています。人口割合は、老年人口割合が高く、生産年齢人口割合が低い地域です。

ワークショップでは、「地域コミュニティ」に関する意見が他の地域より多く、課題としてコミュニティの希薄化が挙げられ、顔の見える関係づくりに取り組むことを重視していました。これに関連して、「地域の拠点づくり」では、人が集まれる場所を整備する、学校に地域住民専用の教室を作るなど、地域活動の拠点に対する意見も挙げられました。

また、「交通インフラ」に関しては、地域内の乗り合いバスなど、移動手段の確保も大きな課題として議論されました。その他、「産業振興」としてジビエの活用や農業体験などによる魅力的なスポットの造成、「都市計画・居住環境」として空き家・遊休農地の活用なども挙げられていました。「高齢者」に関する意見も多く、デジタル技術の活用や、活躍できる場の促進などに期待する声もありました。



エ 西南部地域 (横山中学校区、長房中学校区、館小中学校区、桐田中学校区、浅川中学校区、陵南中学校区)

西南部地域は、雄大な自然を誇る高尾山や南浅川のさくら並木など、市を代表する景観資源が存在していることに加え、武蔵陵墓地や小仏関などの歴史や文化資源なども多く存在しています。人口割合は、老年人口割合が高く、生産年齢人口割合が低い地域です。

ワークショップでは、西部地域と同様に「地域コミュニティ」に関する意見が多く、コミュニティの希薄化に対する課題意識がありました。その解決策としては、参加したくなる、参加しやすい町会・自治会活動などが挙げられたほか、「産業振興」と絡め、地場産品を販売するマルシェを定期開催するなどの意見が挙げられていました。

また、「地域人材の育成」についての意見も多く、地域リーダーの育成・認定制度の創設などが必要であるとされていました。加えて地域情報の共有や、SNSを活用した地域の魅力発信という意見もありました。また、「自然・環境」に関して、豊かな自然環境をPRしていきたいという意見のほか、地域における「空き家」の活用についての意見も多く、子ども食堂やサロンとして活用する、学生と協力して改修をするなどのアイデアが挙げられました。



オ 東南部地域 (由井中学校区、打越中学校区、みなみ野小中学校区、七国中学校区)

東南部地域は、国道16号などの主要な幹線道路と、JR横浜線や京王線が地域内を縦横に通る交通利便性が高い地域です。また、北野工業団地をはじめ、製造業や物流などの産業が多く立地するとともに、小比企丘陵には優良な農地が広がり、産業と居住、自然環境が調和した市街地を形成しています。八王子ニュータウンでは、住宅市街地を形成しつつ自然環境の維持・保全を図っています。人口割合は、生産年齢人口割合が高く、年少人口割合も高い地域です。

ワークショップでは、「交流の場」に関する意見が多く挙げられました。子どもと高齢者、大学生と小・中学生など、多世代がつながることのできる場づくりへの期待、また、「大学・学生との連携」への期待も高く、大学生と一緒にふれあいの場を運営、学生が学校施設のリノベーションに携わることで地域への愛着を深めるなどの意見がありました。

さらに「公園・緑地」に関する意見も多く、片倉城跡公園の利用促進に向けた取組、地域住民が望む公園の整備、公園の使用制限を緩和して活用の幅を広げるといった意見が挙げられました。



カ 東部地域 (由木中学校区、松が谷中学校区、中山中学校区、南大沢中学校区、宮上中学校区、別所中学校区、上柚木中学校区、松木中学校区、鎌水中学校区)

東部地域は、起伏に富んだ地域の中央に大栗川が流れ、南側は多摩ニュータウンとそれを取り囲む丘陵地で、北側は多摩丘陵と落ち着いた住宅地で構成されています。また、野猿街道などの幹線道路と京王相模原線が通り、交通利便性が高く、大学も多く立地しています。人口割合は、生産年齢人口割合が高く、年少人口割合も高い地域です。

ワークショップでは、「情報」に関する意見が多く挙げられ、情報発信ステーションの開設、駅前のショッピングセンターへの地域情報板の設置、SNSによる地域サイトの構築などの意見がありました。地域内には、地域活動を担う団体が多く存在するものの、情報共有が十分とは言えず、一体的な取組になりにくいとの意見がありました。また、「スポーツ・文化・生涯学習」の分野では、学びの場への意見が多く、学校の空き教室を活用した地域による教室(講座)の開催などについて議論されていました。「産業振興」では、レストランを中心とした地域のブランディング、遊休地への市民農園の設置など農業活性化の意向もある地域です。



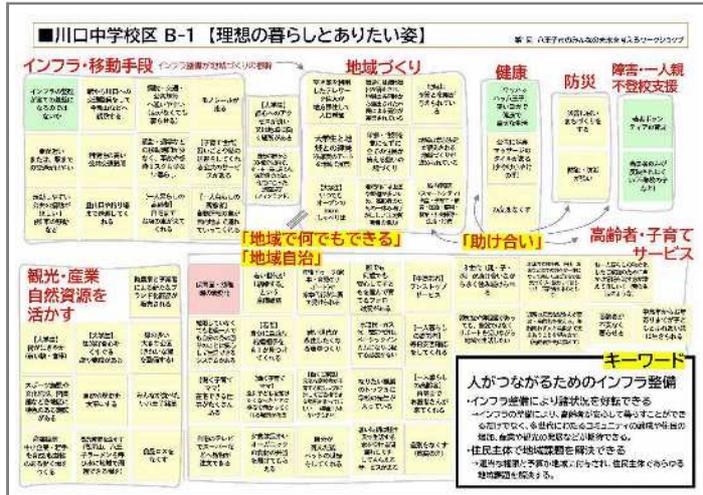
「自然・環境」に関する意見も多く、環境学習の支援体制の整備など、自然との共生を重視しているほか、「相談」というキーワードが他の地域に比べて多いのも特徴で、育児など日常生活について相談できる一元的な窓口の充実が求められていました。

3 検討内容のまとめ

(1) 整理概要

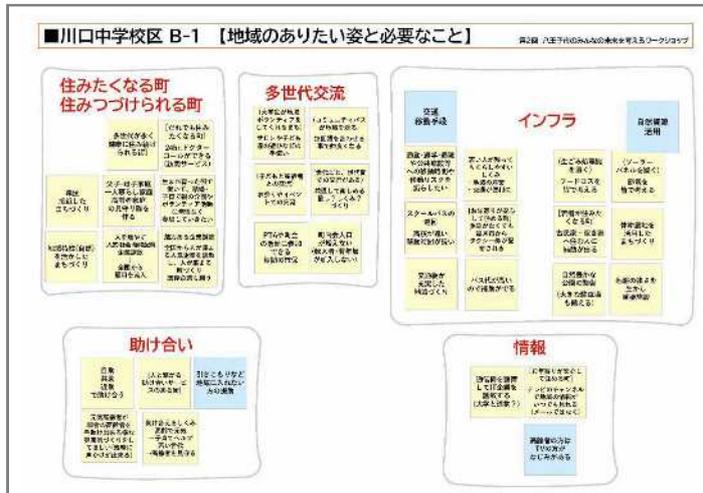
第1回は「理想の暮らしとありたい姿」について意見をグルーピングし、ありたい姿を示すキーワードを検討しました。第2回の前半ワークでは、必要なことの意味をグルーピングのうえ、後半ワークで改めて書き出し、取組主体×時間の2つの軸に配置して、ありたい姿の実現に向けて必要なことの可視化を行うとともに、「地域のありたい姿」を決定しました。

第1回ワークショップ

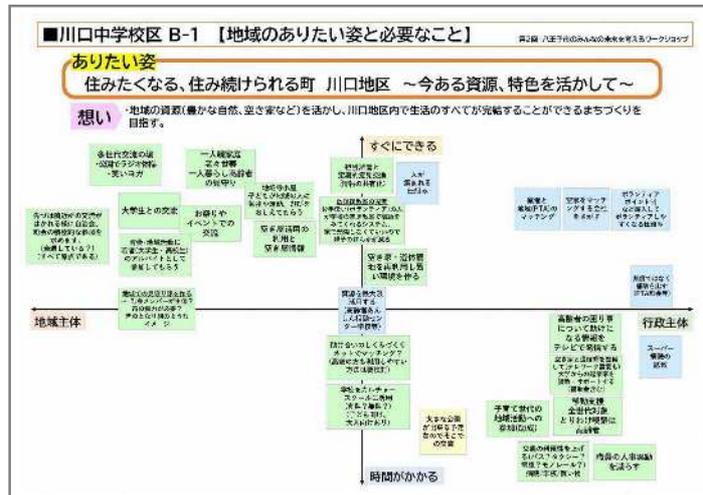


第2回ワークショップ

< 前半ワーク >



< 後半ワーク >

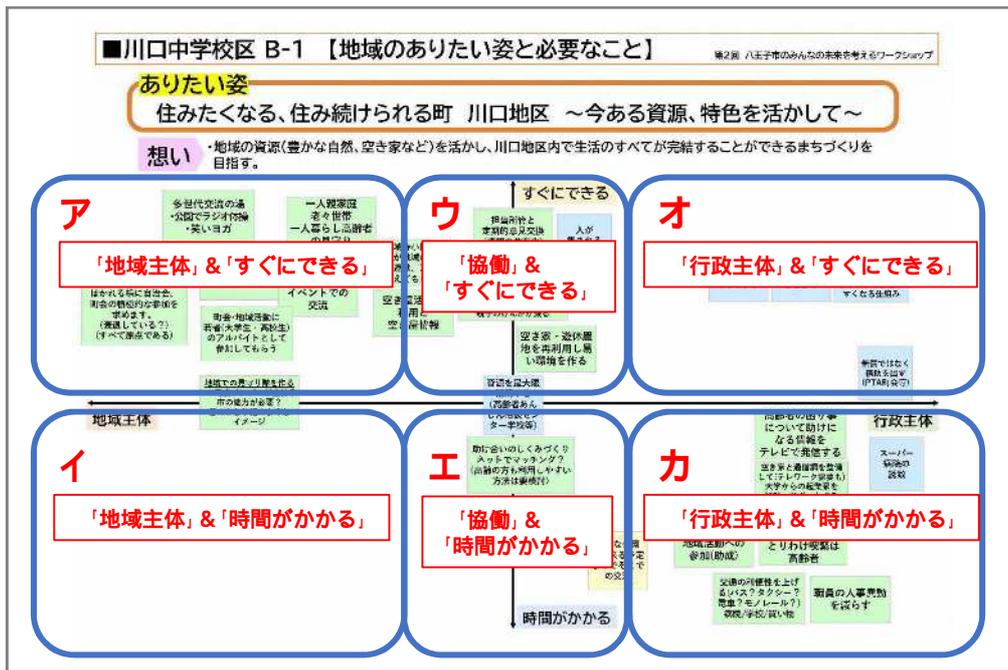


(2) 整理方法

第2回ワークショップの後半ワークでまとめた内容について、同じ中学校区の2テーブルの意見を合わせ、以下の6つの象限に該当する意見を表にまとめました。横軸の中央付近に配置された意見は、地域と行政の「協働」として分類しています。

まとめを整理するにあたっては、象限の区分を一部変更しています。

第2回ワークショップ 後半ワークのまとめ (2テーブル)



中学校区のまとめ



(3)地域のありたい姿

ワークショップを通じて、各中学校区の各テーブルが掲げた「地域のありたい姿」と、それに込め「想い」は次のとおりです。

「想い」については、検討時の表現をそのまま掲載しています。

中学校区別 地域のありたい姿

中学校区	ありたい姿	想い
1 第一中	全世代が手をつなぐまち 八王子	・働く現役世代も含めて、地域の活動に積極的に参加してもらいたい。そのためには、誰もが楽しんで参加・共感できるための工夫（機会、情報発信、場）をし、いろいろな世代・いろいろなテーマの活動を横断的につなげて盛り上げたい。
	多世代の声が聞けて、それぞれが繋がり、笑顔あふれる地域!!	・地域に暮らす住民同士のつながり、異なる世代の住民がみんなで取り組むこと・交流が減っている。 ・住民にとって身近な学校などを活用し、地区のことをよくわかっている住民自身が窓口となりながら、暮らしに身近なサポート、地域の多世代をつなぐ活動を展開していきたい。
2 第二中	世代豊かなキズナづくり	・高齢者、若者、子どもをつなぐ地域のコミュニティづくりを重視し、幅広い世代が豊かに暮らせるまちを目指す。多様な世代の交流を促進し、次世代の育成に力を入れ、若手の力を農業や保育に活かすなど、地域の魅力を向上させていく。
	誰もが気軽に立ち寄れる お茶飲み場があるまち	・子どもや高齢者、障がい者など、誰もが気軽に交流する場があることで、まちへの意識（ありたい姿や問題点）や愛着が湧く。誰でも行ける、いつでも開いている居場所が必要。自分たちが意見交換していく場が必要。
3 第四中	誰もが安心・安全・笑顔で 幸せに暮らせる街	・住民同士がつながり、幅広く意見を聞きながら、「誰もが」「幸せ」に暮らせる街にしていきたい。（中学生～大学生や、若い人の意見も聞きたい、参加してもらいたい）
	すごいんだぜ四中校区 ～お互いを尊重して誰でも 安心して暮らせる街～	・この地域のすごさは、「住民同士のつながりが強い」「コミュニケーションがすごい」こと。 ・高齢者も、子育て世代も、古い人も、新しい人も、お互いを尊重して「誰でも安心して暮らせる街」へ。
4 第五中	気軽に集まれるような「居」 ～親密なつながり～	・地域内における「ひとひとのつながり」を大切にし、地域内で世代等関係なく、つどえる、つながるための手段や方法を考えていく。
	心やすらぐまち ふるさとはちおうじ	・あいさつをきっかけにコミュニケーションを図ることで、心が通いあい、お互い育み合うまちとなっていきたい。
5 第六中	子どもからシニアまで楽しく 生きがいを持ってありのまま (自由)に暮らせる街	・誰も取りこぼすことなく助け合いながら、生きがいをもって生活する街、子どもやマイノリティーの人、障がいのある人等が自分を変えることなく受け入れられる街にしたい。
	豊かな自然の中でだれでも 安心して暮らせるまち	・町会加入率が下がり地域内の交流が減少しているなか、多世代間の交流や地域の人たちが楽しく過ごせる場が必要。
6 第七中	うちの町がいちばん!! ～つな がりづくり～ つながり1番!!のまち	・近年はつながりが薄れているところがあるが、地域の子もたちやその親世代とつながりをつくり、継続していきたい。 ・つながるきっかけ・場づくり、情報共有、助け合いの仕組みづくりなどを進め、人とのつながり1番のまちにしたい。
7 ひよどり 山中	誰でも集まれる場所・しくみ があり、緑と一緒にくらすま ち	・誰もが集まり、気軽に相談したり話したりできる場所としくみがあることで、大学生との交流をはじめ、多世代間の交流があるまち。ひよどり山の豊かな自然・緑とともに住み続けるまち。

中学校区		ありたい姿	想い
8	甲ノ原中	既存の資源（ヒト・モノ・環境）を活かしたまちづくり ～高齢者にやさしいまちづくりは子ども世代にもやさしい～	・高齢化率が高い一方、都営住宅があり子育て家庭も多く、また大学もあることから、幅広い年齢層が生活している地区。高齢者が活躍できるよう、安心して外出できる環境づくりや、活躍できる場づくりが必要で、少しでも報酬が得られればやる気につながり、好循環が生まれる。
		関わり合いの多様性から始まる地域 ～きっかけ作りと巻き込む力～	・既存のリソースを使えば、すぐにも行動に移せることは多い。そのためには地域のリソース（人材）が集まるきっかけや巻き込む力が重要。継続的な声かけや、小学校のつながりから地域活動に参加してもらえるための工夫が必要。
9	石川中	石川地区をスマートコミュニティへ by路面電車	・石川地区の中でもっと充実したコミュニティづくりをしていきたい（コンパクトシティ化）。 ・陸の孤島に路面電車。 ・シャンゼリゼ通りのように人が自然と集まり、若い人も高齢者もいきいき出来る居場所。
10	横山中	つながりの生まれる場所 美味しい食事付き！	・様々な世代や背景の市民が、それら属性に関係なく、気軽に集まりつながれる場所・機会をつくる。 ・居場所づくり 食事の場は、世代に関係なく誰もが集まる場所。誰でも集えて、「つながり」が生まれる場所づくり。
		横山LOVE♥でつながろう	・横山地区は地元愛が深い人が多い。日常的に住民同士がコミュニケーションを取ることでできる場をつくることによって、地区の歴史や文化が継承され、日々の生活が豊かになり、地域に地元愛が広がってゆく。 ・現役世代や子育て世代など、地域とのつながりが希薄な人たちのために、地域の情報（求めているもの）が気軽に入手できる環境整備が急務。
11	長房中	～幸福度の高い街・長房に向けて～	・幸福度とは、安心・安全であること、「モノ」でなく「心の幸福」に満ちていること、生活の利便性が保たれていること。
		安心して多文化・多世代のつながりがある町 長房	・色々な世代の人たちが集まれる地域の拠点があり、拠点にはコーディネーターチームを編成し、イベントの企画や人を集める仕掛けを考え、若者から高齢者まで、情報発信と共有が図られるような取組みが進む町。
12	館小中	自然と共に思い出のあるまち（人とのつながりを大切にする）	・地域の豊かな自然を前提に、人とのつながりを大切にしていく。新規転入者や若年層ともしっかり関係性を築くことで地域の歴史やイベント等を次世代に継承していけるように。地域を知り、つながることが、地域への愛着醸成に必要。
		あいさつで始まる館ヶ丘	・あいさつや雑談ができる土壌があると、防犯・安否確認・多世代交流など共助しやすい地域づくりにつながる。あいさつを起点とし、地域と学校の交流促進や自治会加入者の増加など館ヶ丘全体の関係性づくりにつなげていきたい。
13	柗田中	自然と文化を通じた多世代交流のまち柗田	・湯殿川をはじめとする自然やそこでの活動、横山南マーチングバンドフェスティバルなどの文化、放課後子ども教室、子供食堂、空き店舗を活用したカフェなどを通じて、世代間交流を広めたい。
		豊かな自然の中でみんなが笑顔で集える町 柗田	・豊かな自然環境を守り育て活かしながら、子どもから大人までみんなが地域に愛着を持ち、支え合いながら笑顔で暮らせるようなまちをにしていきたい。
14	元八王子中	ウェルカムな街 もとはちおうじ ～すべての人に安心・安全な美しい街～	・生活道路の交通量の多さや道路の狭さ、公共交通の不便さといった交通インフラへの課題感が強く、ハード面での安心・安全なまちづくりを望む一方、ソフト面で安心・安全につながる取組として、さまざまなイベント・機会を通じて、顔の見える関係づくり、多世代の交流促進を図っていくことが必要。
		大人も子供もつながりを大切に 仲が良い元八王子	・大人も子供も障がい者もあらゆる世代がつながれる環境づくり。そのために、地域の交流の場が必要であり、北条氏照まつりを活用した地域のつながり強化を図りたい。
15	四谷中	ささやかな心配りが心地よい四谷	・町会の衰退、子供会の消滅により、地域の世代間の交流が途絶え、コミュニケーションが取れなくなってしまっている。 ・多世代の皆が「ほどよい」距離感で繋がり、見守り、支えあえる、心（ハート）を大切にしたい。
		世代をこえて地域一体となった1つの街 四谷地区	・放課後学習やファミリーサポートなどを活用し、地域の人たちが地域の活動に参加することで、横のつながりだけでなく、縦のつながりを広げていくことによって、地域の輪を広げていく。

中学校区		ありたい姿	想い
16	横川中	住んで良かったまち 横川	・自然環境や歴史・文化を活かし、自発的に活動したり世代間交流や多様な交流ができる機会・場があることで、身近なつながりを感じ、だれもが愛着を持ち、住んでよかったと思うまちを目指す。
		教え合い、育て合う、人とのつながりが深まる横川	・高齢者同士はもちろん、子どもと高齢者が互いに教え合う、育て合うことができるしかけや場をつくることで、人とのつながりがあるまちを目指す。
17	城山中	Shoku（触・食・職）で人がつながる街	・人と人とのつながりを重視。交流の場をいかにして作るか、様々な世代をどうやって取り込んでいくかという考えが軸。 ・人と人の触れ合いがカギとなるとの意見から、前回からの「Shoku（食・職）」に3つ目の「触」を追加。
		「緑」と「歴史」に恵まれた安全・安心で笑顔にあふれたまちづくりを目指して	・赤ちゃんを含めた子どもから高齢者、教育文化、社会・インフラ（自然環境の整備やIT）、防犯・防災を大きな柱とし、「笑顔にあふれた」まちづくりを。
18	恩方中	「情報発信」と「交流」で良い（イイ）加減の地域	・恩方の豊かな地域資源（畜農・自然・人材）を活用しながらの魅力を広め、人々が集う街を実現したい。
		恩方観光地プロジェクト～みんなが主役！たのしくすごせる恩方	・観光客向けのイベントをやるだけではなく、住民も楽しみ、交流が生まれる地域をめざしたい。地域の雇用が生まれて持続可能な活動にしなければ、子どもたちが外へ出て行ってしまふ。観光客や担い手として外から入ってきた人を定住につなげて地域活性化を図りたい。
19	川口中	住みたくなる、住み続けられる町 川口地区 ～今ある資源、特色を活かして～	・地域の資源（豊かな自然、空き家など）を活かし、川口地区内で生活のすべてが完結することができるまちづくりを目指す。
		自然と共生し、大人から子どもまで関わりあえる街 川口	・まちづくりの担い手である地域住民を増加させるためには、豊かな自然環境という魅力をうまくアピールし、人を呼び込むことが大切。都会では手に入れることができない素晴らしい環境を生かしたい。 ・おせっかいというコミュニケーションを通じて地元愛を育み、子どもと子育て環境に投資することを優先し、定住意向に繋げていく。
20	檜原中	地域ぐるみで知り合い、助け合える街・檜原	・世代間交流等を通じた地域の中で顔が見える関係性を生み出すことが、日々の助け合いや地域の治安向上、安全安心につながる
		子どもとシニアが集える場所づくり	・小学校を核とし、幼児やお年寄り等でも集まれ、相互に利益を生み出していける場所。人と人が集まり活動していける場所。
21	加住小中	世代をこえて、みどり豊かな住み良いまちで心豊かに生きる	・豊かな自然、田舎の良さを守りながら、子どもから高齢者まで地域に住むすべての人がつながり・絆を強めていく。 ・交通・買い物が便利で、子どもたちが伸び伸びと豊かな自然に触れながら成長していける住みよい地域にしていきたい。
		笑顔あふれる子どもから大人まで一緒に成長できる加住	・シルバー世代だけでなく、子育て世代や子どもたちも地域のボランティア活動に参加できるような環境をつくりたい。 ・子どもには何ができるのか・何をさせたらよいのかを保護者も一緒に考えながら活動することで、保護者や周りの参加者自身も成長し、地域の活性化に繋げる。
22	由井中	懐かしさと新しさが混じりあう 誰でも居心地よく楽しく交流できる 住みよいまち	・高齢者や子ども、新しい住民や古くからの住民など、幅広い世代や立場の人を繋ぎ、誰でも安心して暮らせるまちを目指す。そのためには、資源や人材をコーディネートする仕組みづくり、環境面の場づくりが求められており、地域と行政が協力し合うことが重要である。
23	打越中	えがおで つながる 広がる（持続可能）ほっとする（安心・安全）～魅力あるまち 北野にきてね～	・地域住民の繋がりを強化することで、お互いに助け合い、みんなが生き生きと安心して、楽しく暮らせるような場所にしたい。
24	みなみ野小中	誰にとっても私の居場所 ♥みなみ野♥	・世代や国籍は関係なく、地域住民みんなが集い、意見交換や悩み相談ができる拠点をつくりたい。そのための情報発信や運営は得意な住民が行う。誰にとっても居心地が良い地域になるために、みなみ野が持つ独自ルールについて再考したり、ワークライフバランスを地域全体で推進していくことが大切になってくる。
		みなみの愛♥～自然を愛する、人を愛する～	・来年で創立25周年を迎えるみなみ野は、自然の豊かさや人の温かさが特徴的な地域である。住民主体となって広報物作成・情報発信、イベント等を行うことで住民同士の交流を深め、地域愛着へつなげていきたい。

中学校区		ありたい姿	想い
25	七国中	いろいろな人がゆるやかにつながれるまち	・七国の子どもたちが地域の中で人間力を育まれ、愛着を生むことのできる環境を充実させていくことをはじめ、地域の中でいろいろな人が緩やかにつながり交流のできるまちにしていきたい。
		七国の人がゆるやかにつながれるまち ー子ども、お年寄り、現役世代、外国人、障害者、大学生、LGBTー	・既存の施設である学校等の活用を軸に、七国に住む子ども、お年寄り、現役世代、外国人、障害者、大学生、LGBT など多世代、多様な人たちがゆるやかにつながれるまちを目指したい。
26	浅川中	若い人がつくる街で高齢者も参加できる街づくり	・若い人（子育て世代）が、地域の魅力を知る・体験する機会を増やして、今後のまちづくりに主体的に取り組んでほしい。高齢者も一緒にまちづくりに参加して、地域の良さをつなぎ、より魅力あるまちへ。
		一生住みたいまち浅川	・地域の良いところを未来に残していきたい、良さを伸ばしたい。そのためにはコミュニティが必要。 ・地域が主体。（行政しかできない部分は行政で） ・自然を生かす。 ・浅川地域で育って良かったと思えるような学び、体験 ずっと浅川で住みたいor戻って暮らしたくなる。 ・地域のリーダーがいて、より交流できる。
27	陵南中	あなたの街のコミュニティセンター陵南中学校	・地域のために主体的に考え行動できる人材を増やしていきたい。 ・地域にとって身近な学校を、住民が地域活動や会議など多様な使い方のできる場にしたい。
28	由木中	個性でつながる・支え合うより取り'縁'のライフスタイル ～ひとりひとりの確かな居場所～	・八王子・由木地域には多様・魅力的な人・営み（制度・活動）・文化・自然があり、これらが守られ活かされることで、住民ひとりひとりにとっての自分の居場所が地域にできる。そのために、交流を通じて個人を尊重しながらつながり・支え合う関係性をつくり、各々が自分に合うライフスタイルを選べる地域にしたい。
		すべての世代が豊かに暮らせる・自慢できる由木 多様性を受け入れ魅力ある街	・八王子・由木地域に既にある資源・活動を活かしながら、歩いていける距離感の中での交流の場づくりや住民同士のつながりを生む交通・移動の仕組みづくりを展開することで、「多様性を受け入れ、誰しも居場所がありみんな一緒に暮らせる、魅力ある街」「心豊かに暮らせる、誇りを持ち自慢ができる由木」をつくっていきたい。
29	松が谷中	4つの地域のつながりを生かした地域の活性化（おおまつり）	・とりあえず皆で話し合い、やってみる!! やればきずなが生まれ、1つの地域では解決できない課題を皆で取り組める!
30	中山中	人と人・人と情報をつなげる幸せな街	・人と人、人と情報がつながることで、子ども世代の教育からシニア世代の医療・見守りまで充実し、さまざま面で安心して暮らすことができる。みんなが幸せに生きられる地域であるために必要なもの同士を「つなげる」地域でありたい。
		共（とも）発達できるまち	・中山には自然や人、既存のコミュニティなど今ある様々な資源がある。これらを活かしていくためには、地域主体で活動しやすい土壌づくりが必要。やる気になればほとんど地域主体でできる!!
31	南大沢中	だれもがつながれる街南大沢	・多くの資源や情報があり、地域活動を実践している人も多いが、単発で終わってしまう。学生、障がい者、外国人、高齢者、子どもなど、誰もがつながれる場所の確保、つながる仕組みづくり、安心できる関係づくり、情報共有が重要。
		生きた声や今ある資産を活かし、つながりづくりの再チャレンジ	・駅前の整備された車歩分離歩道、都立大学、スマートシティ構想など、南大沢ならではの資産を活かし、地域の情報の一元化、まちの中心づくりなど、市民と行政が歩み寄り、街づくりを進めていきたい。
32	宮上中	多世代がつながり 助け合うまち 宮上中学校区	・住民が孤立したり不安を感じないように、ゆるくつながれる場や仕組みをつくり、多世代が関心をもつ活動やイベントの実施、地域コミュニティサイトを活用することで、幅広い世代の住民が助け合える地域にしたい。
		学校に地域住民の学びを集約して発信の拠点に	・生まれた地域にずっと住み続けるため、学校を地域社会に開き、全世代が交流し、学び合い、雇用にまでつなげるような「文教都市」としての街づくり・情報発信をおこない、今後も住み続ける人や新たな転入者を増やしたい。

中学校区		ありたい姿	想い
33	別所中	子どもから高齢者まであらゆる世代がつながる ~自然に学び自然とともに生活できる、健康で生涯学べる町づくり~	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然」：里山の歴史を継承した豊かな自然環境や公園があり、地域のバックボーンとして欠かせず、多世代活躍の場となる。 ・「健康」：あらゆる活動の基礎となるもの。 ・「生涯学べる」：学園都市としての魅力を最大限に活かし、学び合いが生涯活躍やつながりを創る。
		自然、歴史、文化を守りながら、誰もが集い、助け合える思いやりの街♥別所♥	・「人と人とのつながり」 誰もが顔見知り。そして、地域の魅力をもっと知ってもらおう。
34	上柚木中	多世代でつながり助け合える上柚木	・住みやすい・住み続けたいと思える安心安全なまち、今あるものを活用した魅力あるまち。
35	松木中	みんなが幸せになるつながり	・困りごとを捨てる（みんなが幸せになる）つながりを作るため、敷居の低い居場所づくり、困りごとが見えるような関係づくり、支える人材・ネットワークづくりができることよい。
		自然豊かな公園を核にしたコミュニティ＝つながりのみえるまち	・地域の特性である自然豊かな公園（蓮生寺公園、長池公園）を活かし、多世代交流の場にしたい。ひととひと、ひとと自然が響きあい、みんなが幸せを紡ぐまち八王子を目指したい。
36	鏈水中	多様な世代の交流“これまでとこれからのチーム鏈水”躍動する鏈水!!	・世代を超えたつながり、新旧を超えたつながり 農産品等による「鏈水ブランド化」や、新旧住民が一体感を共有できる場「鏈水同好会」等を通して、鏈水全体がひとつになり、活気あふれる地域となる。
37	いずみの森義務教育学校区	「八王子に住んで幸せだ」と思える場所がいっぱいのまち	・八王子のまちに住んで幸せだと思える人が増え、住み続けやすい環境を継続していく為に、若い世代やまちとの関わりの薄い層も含め、参加しやすい場作りや、集いやすい場所をまちじゅうに増やしていきたい。
		誰もが家族になれるまち	・既にある学校や公園、将来的に生まれる医療刑務所跡地など多くの人が集える場所の創出、地域主導のイベントなどの充実を通じて、同世代同士の連携だけでなく、各世代が繋がれるようなまちにしていきたい。

(4) 地域のありたい姿の実現に向けて必要なこと(主な意見)

「地域のありたい姿」を踏まえ、その実現に向けて必要なことを取組主体×時間の2つの軸で整理したところ、主な意見として次のものが挙げられました。

6つの象限は、各テーブルで検討された分類をそのまま採用しており、同一の内容でも、分類が異なる場合があります。

ア 「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと	校区数
1	地域 コミュニティ	あいさつ運動の実施(あいさつし合う環境づくり、顔の見える関係づくり)	13
		グループづくり・活動の活性化(同好会の創設、地域活動のカレンダー作成・発信、地域活動を通じたやりがいの創出、地域のお散歩・資源マップづくり)	12
		イベントによる交流のきっかけづくり(運動会や納涼祭などの地域行事、市民運動会、多世代で参加できるイベント・お祭りの実施)	12
		町会・自治会や地域活動への参加促進(参加しやすい、参加したくなる町会・自治会活動、積極的な声掛け・お誘いによる地域参加の入口づくり、無理をしない役割分担)	8
		住民の意見を反映する(地域住民のニーズ把握、地域の店舗や施設のニーズの聞き取り、子どもも参加する地域未来会議の開催)	4
		地域運営の体制づくり(既存の地域活動同士の連携・ネットワーク化、学校・企業・地域・市が参加するシンポジウム)	4
	地域の 拠点づくり	活動拠点の設置(神社・寺・集会室を利用しての地域住民の居場所づくり、コミュニティカフェ・コミュニティスペースの開設)	10
	地域人材の 育成	地域リーダーの育成、得意分野毎の地域プロ人材の発掘、楽しみ学べるボランティア活動の推進	8
	大学・学生 との連携	地域活動に大学生・高校生がアルバイトとして参加、小・中学生への学習支援やお祭りなど地域行事で大学生と交流	6
	情報(発信、 共有、デジタル 化)	SNS等の活用(地域での情報共有にSNSを活用、回覧板のSNS化、地域アプリの開発(連絡、データヘルス、人材マッチング等))	8
		IT化促進(Wi-fi設備の充実、SNS等を学ぶ機会の提供)	3
		情報発信(地域資源のPR、活動を発信・地域の人を楽しむ姿を発信)	3
		サイトの充実(情報交流サイト・まとめサイトの構築、地域で手助けして欲しいことを大学生に伝えるポータルサイトの構築)	3
	交流の場	交流の場づくり(地域交流の場・サロン・まちの縁側づくり、地域寺子屋、ゆるやかなつながりづくり、ランチルームの再開)	20
		イベントの開催(手作り品を販売するフリーマーケットの開催、市民企画による多世代向けイベントの開催、みんなが参加できる地域イベント・住民交流)	16
		子どもと高齢者の交流(子どもと高齢者が集える場所づくり)	3
	意見交換の場	まちづくりに関する意見交換の場づくり	3

都市像	分野	必要なこと	校区数
2	高齢者	生活支援（地域における友人づくり・話し相手づくり支援、ボランティアドライブによる高齢者の移動サポート、高齢者向けの買い物・食事支援）	3
	見守り・支え合い	助け合い活動（「誰でも食堂」の開設）	5
		助け合いのしくみづくり（困りごとお助けボードを使ったマッチング、地域の困りごとを解決するお助け隊の組織化、ボランティアポイント制度の導入）	5
		見守り活動（地域での見守り隊の創設、安否確認のためのしくみづくり）	4
3	子ども・子育て	子ども食堂の開設・拡充（子ども食堂の開設、子ども食堂や日用品バンクなどを持続可能にするためのクラウドファンディングの活用）	4
		子どもの居場所づくり（中高生の居場所づくり、団地の集会所・空き家を活用した勉強場所の開放・増設、既存施設を活用した自由に遊べる場所の整備）	3
		子育て中の親への支援（子どもとママが集まれる憩いの場、子育てに両親ともに参加できる環境づくり、子育て中のお母さんの息抜き場の場づくり）	3
		子ども会の活動促進（子ども会活動の活性化、子ども会等での街歩き）	3
	スポーツ・文化・生涯学習	歴史・文化の継承（伝統芸能の継承、伝統食の学び、町の歴史や伝統を地域から発信、歴史を大事にした町づくり）	4
		学びの場づくり（地域の教室を企画・開催、八王子大人検定免許の実施、地域資源の発掘・学びのイベントの開催、歴史勉強会の実施）	4
		文化活動の推進（市外からも人が訪れる音楽祭などのイベント、マーチングバンドのPR）	4
	学校・教育	学習支援（学生や高齢者による小・中学生への学習支援、放課後学習会）	3
	多文化共生	外国人への日本語教育や外国人からの言語・文化を学ぶ場づくり、子ども向けの多国籍・多文化交流（英会話など）	3
	4	防災	防災訓練の実施（地域団体同士の連携による防災活動、防災訓練と娯楽イベントを合同開催、学校における多世代が集まる機会（防災イベント）づくり）
都市計画・居住環境		空き家対策（空き家の美化・活用、空き家管理の請負）	3
公園・緑地		公園の整備・充実（公園の活用（町会・自治会単位の朝市の開催など）、公園の細かな整備への住民参加、公園案内マップの制作、公園スタンプラリーなどの企画）	5
景観・まちなみ		きれいな街（通学路の花植え、家の前に花を置く一鉢（八）運動）	4
安全・安心		防犯の取組（地域の安心のためシルバーパトロール隊の結成、防犯・防火のための夜回り隊、近隣住民同士の声かけ）	4
5	産業振興	商業・観光の活性化（食品や地域産品を販売する「マルシェ」の定期開催、大学生等と連携した空き店舗の改修・活用、駅前にインスタ映えスポットの創設）	5
		農業の取組（みんなで使えるコミュニティ・ファームの設置、畑コーディネーター制度の創設、畑をやってみたい人たちの町内農業体験会）	4
6	自然・環境	環境・美化（地域一斉デーの創設、ゴミのないきれいな街への意識醸成、地域内不用品交換会の実施）	6

イ 「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと	校区数
1	地域コミュニティ	地域運営の体制づくり（福祉事業所や医療機関の参画、PTA役員OBなどの子育てが終わっても続くつながりづくり、まちづくりNPOの設立）	3
		町会・自治会や地域活動への参加促進（町会・自治会への加入率の向上）	3
	地域の拠点づくり	活動拠点の設置（地域団体が交流できる拠点づくり、空き家を改修した拠点づくり）	3
	地域人材の育成	地域で活躍する人材・役割の見直し、地域の人財を地域で育てるしくみづくり	7
	大学・学生との連携	学生と地域が連携した子ども祭りの復活、大学とのネットワークづくり	4
	情報（発信、共有、デジタル化）	SNS等の活用（LINEやメールを活用した地域情報共有、インスタグラム等の活用・コンテストの開催）	4
	交流の場	イベントの開催（お祭りによるつながり、学校と地域の合同イベント、市民センターまつりの拡大、地域合同スポーツ大会の開催）	6
交流の場づくり（銭湯の開設による交流の場づくり、美術館・ギャラリーの開設による地域交流の場づくり、つながりを作り続ける取組）		5	
2	見守り・支え合い	見守り活動（地域の見守り活動推進、行きたくなる・行かざるを得ない場づくりによるゆるやかな見守り）	3
3	子ども・子育て	子ども食堂の開設・拡充（お祭り等で余った物資を子ども食堂に寄付、空き家を活用した子ども食堂の実施、1町内会に1つの子ども食堂）	5
	スポーツ・文化・生涯学習	学びの場づくり（市民講座の開催、魅力ある・オシャレな地域学習の場づくり、各世代への教育支援の確立）	4
5	産業振興	商業・観光の活性化（商店街を核にした地域活性化、夜遅くまで営業している店の拡充）	3
6	自然・環境	緑の保全（地域の緑を残し自然を守るしくみづくり、親子での森の再生、緑を保全する意識をもつ、住民主導による防災に強い地域森林の整備）	4

ウ 「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと	校区数
1	地域コミュニティ	住民の意見を反映する（地域状況のりサーチ、若者や子どもなど次世代も参加する住民ワークショップの開催）	4
		町会・自治会や地域活動への参加促進（町会・自治会加入促進、参加者への魅力発信や理解促進）	4
	地域の拠点づくり	活動拠点の設置（ショッピングセンター内の空き店舗を活用した常設サロン（カフェ）の開設、空き家の活用推進、キッチンカーなどの移動可能で気軽に集える小さな拠点整備）	6
	地域人材の育成	地域コーディネーター・多世代交流コーディネーターの育成、コミュニティデザイナーの育成、市民ボランティアの調整役の設置、地域人材バンクの創設	7

都市像	分野	必要なこと	校区数
1	情報（発信、共有、デジタル化）	SNS等の活用（雇用・コミュニティ・店舗情報・イベント情報などをまとめたサイト（SNS）の構築、SNSを使ってまちをアピール、イベント等の発信）	7
		情報共有（学校を拠点に地域情報の集約・発信、地域版のまとめサイト（SNS）の構築・発信）	5
		掲示板（駅前ショッピングセンターで地域情報を発信する伝言板の設置、ネットと掲示板併用によるやりたいことの収集）	3
	交流の場	学校を交流の場として活用（自由度の高い交流の場として活用（学校・空き教室の開放）、小・中学校にカフェスペースの設置）	5
		イベントの開催（八王子に人が集まってくるイベント（八王子ロック・八王子まつり等）、世代で分けないイベントや学び）	4
		交流の場づくり（地域交流の場としての各町会会館の利用、給食の合同食事による交流のきっかけづくり）	3
	意見交換の場	地域と行政を交えた話し合いの場づくり、地域全体で話し合う場の設定	3
2	見守り・支え合い	助け合い活動（地域食堂の開設、高齢者の食事や買い物など住民同士での助け合い、有償（格安）ボランティアによる軽作業）	3
3	スポーツ・文化・生涯学習	歴史・文化の継承（お祭り・昔遊び等昔からの行事の継承、地域の歴史に関する本や紙芝居・プレートの制作、住民ガイドによる八王子市の歴史バスツアー）	6
		学びの場づくり（放課後子ども教室と地域ボランティアとの協働）	4
		スポーツの推進（スポーツ愛好者が集まりやすい学校体育館等の活用、地域ウォーキングの開催、プロスポーツチームの創設）	3
	学校・教育	学校と地域の連携（学校コーディネーターの育成、地域サポーター登録制度の導入、学校行事への住民参加・学校公開、学校安全ボランティア制度の拡充）	4
		学びの充実（講師を招き学習・勉強に対する意識改革、小・中学生による八王子の歴史新聞の作成、子ども向けの人とのつながり方講座）	4
4	防災	防災訓練の実施（地域一体での防災訓練の実施、学生・外国人・高齢者も参加できる楽しい防災イベント）	3
	公園・緑地	公園の整備・充実（公園広場の多目的利用の拡大、公園の管理整備への高齢者の参画、公園における住民と行政の役割の整理・理解）	4
5	産業振興	特産品の活用（桑の葉の活用したレシピ普及、農産物の加工所設置、市主催の特産品の競技会・コンテスト開催、地域資源をアピールする場所の整備）	4
		商業・観光の活性化（八王子の名所を巡るミニ旅行の企画、全世代が集う「八王子まつり」の拡充、「滝山城主」の一般公募（整備費用の捻出））	4
		農業の取組（農業と観光での集客、生産緑地への援農ボランティア制度の適用、ソーシャルファームの導入）	4
6	自然・環境	緑の保全（谷地川に桜を植える活動、初沢山（栗山）の整備、雑木林管理への資金等の支援、植樹・花畑の整備）	5
		環境・美化（子どもたちの環境学習の支援体制づくり、美化活動、ごみの回収ボランティア袋の各戸配布）	3

エ 「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと	校区数
1	地域の拠点づくり	活動拠点の設置（空き教室に地域未来館・地域情報館の設置、市からの委託による地域拠点の運営、多世代が交流できるコンビニのような店の設置）	9
		学校を拠点に（小学校の一部を開かれた地域福祉拠点として活用）	3
	地域人材の育成	地域のコンシェルジュ、コーディネーターの育成・確保	4
2	医療・健康	医療・福祉の充実（まちの保健室、訪問診療の情報一元化、介護等施設連携の健康データの管理システムの構築）	4
	高齢者	生活支援（高齢者用タクシー・バスの整備、若者による独居老人への支援の活性化、高齢者の移動支援）	3
3	学校・教育	学校と地域の連携（地域を巻き込み多世代交流での教育支援、日常的に地域と学校が協働して活動、地域が主体的に跡地活用策を検討）	3
4	交通インフラ	コミュニティバスの運行・充実（はちバスの運行ルート見直し・地域住民による運行ルート決め、子ども無料の八王子版山手線（バス）の整備）	4
	公園・緑地	公園の整備・充実（広場へのトイレ設置（管理は行政と協働）、のびのび遊べる公園の充実、オープンテラス付きカフェの設置、地域型公園の整備）	6
5	産業振興	特産品の活用（地元の野菜果物を使用した特産品開発、八王子特産のみで構成するお歳暮・お中元セットづくり、ジビエのための準備・解体施設整備）	3

オ 「行政主体」&「すぐにできる」

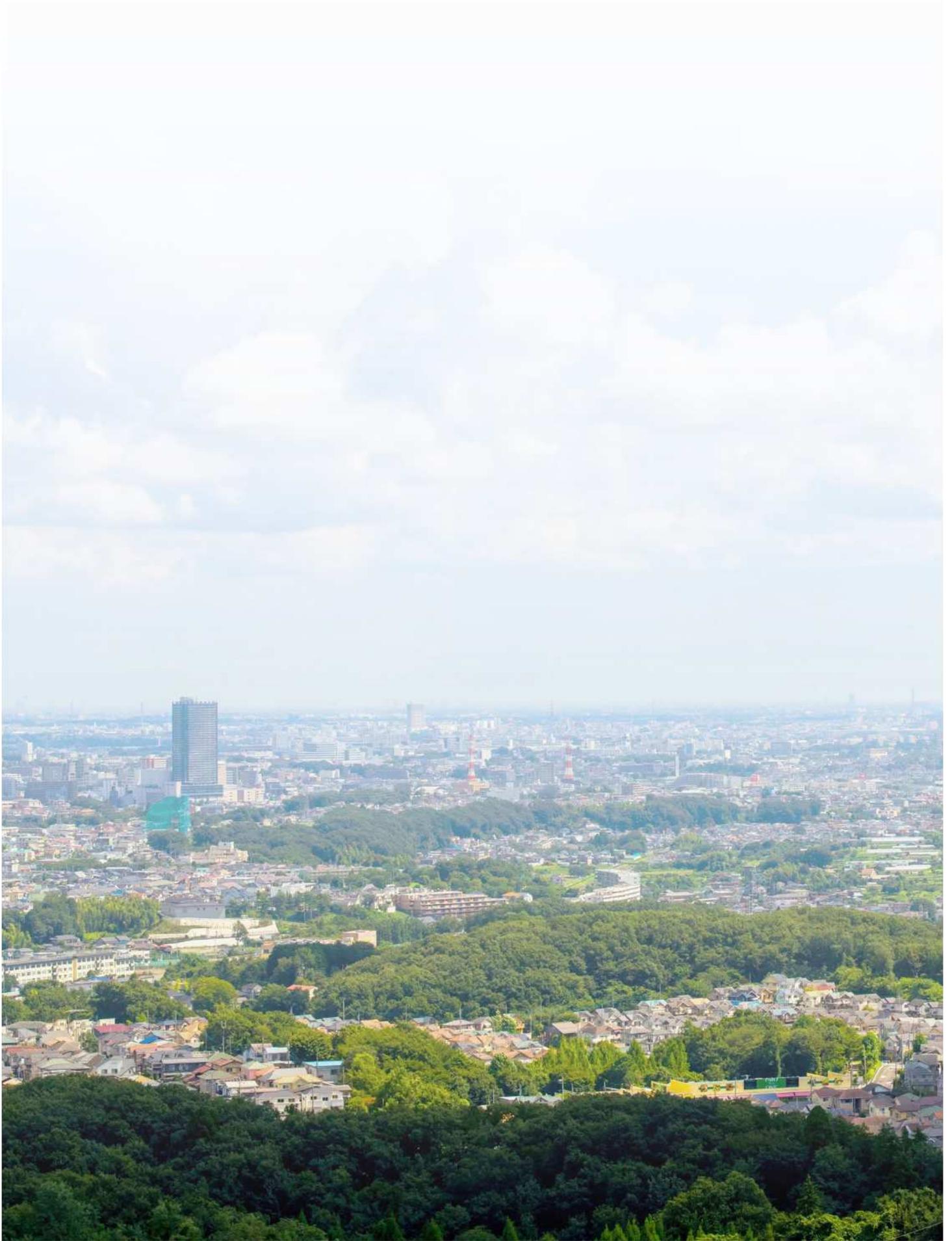
都市像	分野	必要なこと	校区数
1	地域コミュニティ	地域運営の体制づくり（要になる地域組織の編成、他地域の見学会、既存団体をつなぐしくみづくり、町会・自治会など組織運営への企業ノウハウの活用）	4
		住民の意見を反映する（多世代の声を拾う戦略的な地域参加のしくみ検討、地域のあり方について幅広い年代にアンケート調査、活動団体のリストアップ）	3
	地域の拠点づくり	活動拠点の設置（空き家を利活用したコミュニティ広場の設置、事務所・市民センターの使いやすさの改善）	5
		学校を拠点に（地域で集まれる場（会館）として小・中学校の開放）	3
	地域人材の育成	中間支援組織との連携・活用、地域コーディネーターの増員、地域活性化リーダーの養成、ボランティア研修の実施	5
	情報（発信、共有、デジタル化）	サイトの充実（それぞれの地区の紹介ホームページの新設、オンラインの市政QAデータベースの整備、市ホームページの改善）	7
		情報共有（地域内の情報共有ができるデジタル掲示板、市内の活動団体等に関する情報の公開・共有）	4
	行政運営	地域と行政の連携強化（行政が市民・各団体のまとめ役を担う、地域活動を具体化する際の相談窓口の設置、地域活動等における手続の簡略化）	5
		市民の声（市民（地域）からの声に対する迅速な対応・市政への反映、行政による住民の意見・ニーズ等の把握）	3

都市像	分野	必要なこと	校区数
2	高齢者	活躍支援（高齢者向けのイベントに学生も参加、高齢者の退職年齢の撤廃、高齢者の学習教室の開催）	4
	見守り・支え合い	助け合いのしくみづくり（ボランティアサークルの創設、ボランティアセンターの活用・窓口の明確化などボランティアしやすい場の創出）	5
	暮らしの相談	相談窓口の設置（「いのちの電話」の設置、市民センターに図書館の窓口・市民相談窓口を設置）	3
3	スポーツ・文化・生涯学習	学びの場づくり（デジタル利活用のための教室の開催、学びの拠点となるような郷土資料館の充実、「雑学大学」の開校）	4
	学校・教育	環境や施設整備（部活動のスクラップ&ビルド、学校施設の美化・設備の充実）	3
5	雇用・就労	働き方改革（育児する親の短時間勤務、シルバー派遣の年齢制限の撤廃）	3

カ 「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと	校区数
1	地域の拠点づくり	活動拠点の設置（多目的・自由に使えるコミュニティセンターの整備、中心市街地に多世代交流拠点の整備、空き家を改装した地域のコミュニティスペースの創設）	8
		学校を拠点に（各学校に地域活動用の空き教室確保）	4
	大学・学生との連携	学生を活用できるしくみづくり、協力して行うイベント活動を授業の単位化	3
	情報（発信、共有、デジタル化）	情報拠点づくり（情報発信ステーションの開設、幅広い年齢層が使用するバス停留所に情報発信拠点の設置）	3
	行政運営	予算の確保（活動団体に予算と権限の委譲、市民活動への活動場所の提供・資金補助、「地域づくり推進事業」における地域への委託化）	6
組織体制（職員の人事異動の減少、行政内の役割分担の整理）		3	
2	医療・健康	医療・福祉の充実（オンライン診療の整備・拡大、大規模病院の設置、夜間医療の充実）	4
	高齢者	生活支援（高齢者の困り事について助けになる情報発信（テレビ）、ボランティアによる車両貸出、はちバスを活用した高齢者の移動支援）	4
3	スポーツ・文化・生涯学習	学びの場づくり（放課後に利用できる子ども教室の運営、市民講師・市民ファシリテーターの養成、八王子市内の大学などのオープンカレッジの活用）	5
	学校・教育	環境や施設整備（小中一貫校整備、体育館にエアコン設置、教員増員による少人数学級の実現、学校給食の実施）	4
		学区の見直し（学区の整理、学区の見直しによる地域に根差す人材の増員）	3

都市像	分野	必要なこと	校区数
4	防災	災害に強い街づくり（防火・防災エリアの構築、新設された防災公園の積極的な活用による防災意識の向上）	3
	交通インフラ	歩道の整備（広い歩道の整備、エスカレータや動く歩道の設置、安全な交通環境のためのモデル地区の設定、段差のない歩道の整備）	8
		モノレールの延伸（八王子みなみ野駅・元八王子へのモノレール整備）	7
		交通利便性の向上（全世代対象の移動支援、スマートモビリティ特区を設け実証実験、気軽に使えるタクシー整備、先進的な交通手段の開発）	7
		コミュニティバスの運行・充実（主要道路以外を通るコミュニティバスの整備、誰でも100円のバス、バスの代用とした老人ホーム等のバス利用）	6
		自転車利用（自転車道の拡大、サイクリングロードの整備）	3
		鉄道網の充実（次世代路面電車システムの導入、路面電車の開通による観光資源化・ブランド力向上）	3
	都市計画・居住環境	施設整備（保育園・小・中学校等が併設する施設の整備、地域中核センターの整備、住居・行政・医療施設の集約化、多世代が楽しめる複合施設）	5
		空き家対策（空き家の活用促進、学生による空き家のリフォームコンペ、空き家の保護・貸与などの財政支援）	5
		跡地利用（医療刑務所跡の活用、大学跡地の活用）	4
公園・緑地	公園の整備・充実（防災・備蓄の機能を備えた多世代交流の場となる公園の設置、公園の使用制限の緩和、スポーツ・キャンプ施設の整備）	13	
5	産業振興	商業・観光の活性化（商業施設の充実、大型商業施設（モール系）の開業、文化的・商業的な複合施設の整備、道の駅等の整備・誘致）	8
		特産品の活用（地域ブランドの創設、織物のまちの活用（シルク・養蚕など）、ジビエの活用）	3
	企業（誘致、支援、連携）	企業・オフィス・ベンチャー企業の誘致、大学からの起業家の誘致・サポート、八王子企業と学生をつなげるしくみづくり	6
6	自然・環境	川の整備（湯殿川的全線整備、谷地川整備（清掃の立ち入り許可・都と市の連携による環境整備の推進）、川沿いの遊歩道の整備、北浅川の洪水対策強化）	6



4 中学校区別の検討結果

[中学校区別の検討結果 掲載順]

次ページから37の各中学校区におけるワークショップの検討結果について掲載しています。掲載順については、以下のとおりです。

「地域のありたい姿」と「地域のありたい姿の実現に向けて必要なこと」については、検討時の原文をそのまま掲載しています。
各中学校区の検討結果における2グループの共通意見については、「印」を記載しています。

No	校区	ページ	No	校区	ページ
1	第一中学校区	30	21	加住小中学校区	70
2	第二中学校区	32	22	由井中学校区	72
3	第四中学校区	34	23	打越中学校区	74
4	第五中学校区	36	24	みなみ野小中学校区	76
5	第六中学校区	38	25	七国中学校区	78
6	第七中学校区	40	26	浅川中学校区	80
7	ひよどり山中中学校区	42	27	陵南中学校区	82
8	甲ノ原中学校区	44	28	由木中学校区	84
9	石川中学校区	46	29	松が谷中学校区	86
10	横山中中学校区	48	30	中山中学校区	88
11	長房中学校区	50	31	南大沢中学校区	90
12	館小中学校区	52	32	宮上中学校区	92
13	櫛田中学校区	54	33	別所中学校区	94
14	元八王子中学校区	56	34	上柚木中学校区	96
15	四谷中学校区	58	35	松木中学校区	98
16	横川中学校区	60	36	鑓水中学校区	100
17	城山中中学校区	62	37	いずみの森義務教育 学校区	102
18	恩方中学校区	64			
19	川口中中学校区	66			
20	檜原中学校区	68			

(1) 第一中学校区

ありたい姿

全世代が手をつなぐまち 八王子

多世代の声が聞けて、それぞれが繋がり、
笑顔あふれる地域!!



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	高齢者などが子どもに昔遊びを教える会
	交流の場	学校区単位での大運動会で地域のつながりをつくる（駅伝大会のような）
3	子ども・子育て	子どもが本音を言える場づくり
	スポーツ・文化 ・生涯学習	市外からも人が訪れる音楽祭などのイベント
5	産業振興	大学生等と連携した空き店舗の改修・活用

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	行政職員が地域のことを詳しく知る機会の充実
2	見守り・支え合い	行きたくなる・行かざるを得ない場づくりで、緩やかな見守り活動
3	子ども・子育て	1町内会に1つの子ども食堂をつくる（子どもだけでなく家族が集う）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、 デジタル化）	世代等に応じた多様な手段による情報発信の充実 SNSや動画の積極的な活用、発信力のある芸能人の活用
	交流の場	子どもから高齢者が集まったの工作や遊びの場 つながりの象徴となる「手つなぎ」の長さのギネスチャレンジ
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	プロスポーツチームをつくる：トレインズへの注目・活用
5	産業振興	全世代が集う「八王子まつり」 ・八王子の産物を集めた八王子マルシェを定期開催（開催場所は移動） ・農家、企業、行政を巻き込んで面白くする
		桑の葉の活用：レシピ普及、学校給食メニューの周知
		タケノコ掘り会（増えてしまう竹林の管理が主だが楽しむ機会をつくる）
6	自然・環境	谷地川に桜を植える会（みんなでの花見を目標に一から育てる）

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	野菜を自ら育てて収穫しみんなで味わうイベント（芋煮会など）

○「行政主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	地域コミュニティの場としての学校（空き教室）の開放・活用
	情報（発信、共有、デジタル化）	市内の活動団体等に関する情報の公開・共有
2	高齢者	高齢者が活用できる行政施設（学校などの既存施設の活用）
3	スポーツ・文化・生涯学習	八王子フェス：音楽祭、八王子出身の有名人が多数出演 八王子アートフェス：大学生を中心に街をアートで飾る、美術館の活用
	学校・教育	学校施設の美化（定期メンテナンス） 学校設備の充実
6	自然環境	さまざまな自然体験の機会 ・子ども向け体験教室（ネイチャーゲーム、保全活動） ・企業向け自然体験講座 ・市民環境会議

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	行政手続きができる窓口を学校に設ける
3	スポーツ・文化・生涯学習	地域の高齢者の学びの場として学校を利用（子どもはオンライン授業も） Jリーグチームの再編成（3チームを1つに統合、市が支援） 世界陸上大会
	学校・教育	オンライン授業の活用
5	産業振興	織物のまちの活用（シルク、養蚕） ・八王子シルクファッションを有名人に着てもらってPR ・絹の道、郷土資料館などを活用した学習プログラムの構築 ・インバウンド向けの活用、PR
6	自然・環境	浅川の整備：BBO場、川まで下りられる駐車場

校区の特徴

- 「地域主体」や「協働」で取り組むことが多く挙げられ、行政の後押しを受けながら、地域で主体的に課題解決に取り組む意向がある。
- 子どもを地域みんなで育てるために高齢者が子どもに遊びを教える、高齢者中心の活動に現役世代・大学生が参加する、講師になるなど住民間での交流・助け合いを重視している。
- 町会・自治会に入らない住民の増加、地区内のつながりの希薄化に強い危機感を持つ声があった。
- 施設やインフラの整備よりも既存施設の活用、つながりのための場（しかけ）に関する意見が多くあった。

(2) 第二中学校区

ありたい姿

世代豊かなキズナづくり

誰もが気軽に立ち寄れるお茶飲み場があるまち



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	住民協議会の活動促進 働いている子育て世代でも地域の活動に参加できる環境づくり
	大学・学生との連携	大学生との交流 (小中学生への勉強の手伝い、お祭りなど町会行事への参加) 力仕事の担い手・だしの担ぎ手として大学生の参画
	意見交換の場	自分たちのまちづくりの意見交換の場をつくる
4	防災	町自連等の連携での防災活動
5	産業振興	「コミュニティ・ファーム」(みんなで使える地域の畑)の設置

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	後継者のバトンタッチ
		地域のリーダーが必要
3	子ども・子育て	お祭り等で余った物資を子ども食堂に寄付

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会活動の開催側と参加側の意識の差をなくす為、魅力の発信、理解促進を図る
2	見守り・支え合い	見守りのための情報収集のしくみづくり(子どもと高齢者を結びつける)
3	子ども・子育て	子どもたちを地域で守り、育てる場所づくり
5	産業振興	ソーシャルファーム(障がい者を受け入れる社会的企業)を増やす

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	医療・健康	「まちの保健室」をつくる
4	公園・緑地	ユニバーサルデザインの公園づくり、障がい者も一緒に遊べる

○「行政主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	多様な世代の声を拾う戦略的な地域参入のしくみを検討
	情報（発信、共有、デジタル化）	ユニバーサルデザインの発信と周知（広報・HP・お知らせ）
	交流の場	世代間交流月間の創設
2	男女共同	提案が実現する!!若者議会や女性議会の実施
	見守り・支え合い	地域のボランティアを評価してもらえるシステム
3	子ども・子育て	子ども会への参加促進（マンパワー不足の解消）
	多文化共生	海外の留学生の行事等への参入促進

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	市民センター利用時間の拡充
3	スポーツ・文化・生涯学習	個人にパソコン配布、オンライン教育に対応
	学校・教育	学区の整理
4	公園・緑地	子どものための公園充実
5	産業振興	農業団地をつくる
		農業の後継者育成のための情報発信、周囲への理解促進

校区の特徴

- 自分たちの暮らすまちについて自分たちで意見交換をしたい、行政と地域で意見交換をしたいなど、協働の地域づくりへの意向がある。
- 子ども、高齢者、若者、障害者、外国人など、誰もが分け隔てなく同じ場所にいることができ、自分らしく暮らせることを重視する声があった。
- 農業の後継者、地域行事の担い手など、子どもや若者を地域で大切に育て、地域で活躍してもらうことを期待する声があった。

(3) 第四中学校区

ありたい姿

誰もが安心・安全・笑顔で幸せに暮らせる街

すごいんだぜ四中校区 ~お互いを尊重して 誰でも安心して暮らせる街~



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	近所でのあいさつ
	地域の拠点づくり	市役所の施設（体育館、会議室）を近隣に開放
	交流の場	地域内で各種イベントを開催（地域の運動会や文化祭、地域が一体となる活動、浅川河川敷地で開催）（多種の交流イベント、昭和歌謡、イラスト教室、子ども預かりなど）（中学生も参加、高校生・大学生を招待 アクティブラーニングに）（若い人の意見を聴く、もっと参加してもらえるようにする） コロナ禍でもできることを増やす
4	安全・安心	ピーポくんの家（子ども緊急避難所）の拡充
6	自然・環境	クリーン活動の実施（もっとPRする、回数を増やす、住民総出で実施）
		地域内不用品交換会の実施

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	お見合いパーティの開催
3	スポーツ・文化・生涯学習	チェロコンサートの再開
	学校・教育	デジタル教育の実施

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	小学生・中学生とPTAで地域のあり方についてワークショップをする
	交流の場	世代で分けないイベントや学び（理想的な包括のあり方）の実施
2	高齢者	包括支援センター等の活動の周知徹底
3	学校・教育	二小の跡地利用について検討する
		講師を招き学習・勉強についての意識を変える
		中学校で「10年後の八王子を考える」をテーマにした授業をする

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	情報通信技術の有効利用（利用するためのサポートも必要）
2	高齢者	移動支援（足の悪い高齢者など）
3	学校・教育	地域と学校が協働で活動することがスタンダードになる
		二小跡地の活用について地域が主体的に活用策を検討（地域コミュニティの拠点、防災のための避難所など）（保育、小・中・高校の統合スペース）
6	自然・環境	緑の育成・保全

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域のあり方について幅広い年代を対象にアンケート調査をする
2	見守り・支え合い	高齢者の見守り制度、助け合い制度の実施（遠隔支援ネットワーク等）
3	学校・教育	児童が主体性を持ち、お互いを認め合っって自尊心を育むような教育をする

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	空き家の有効活用（コミュニティスペースとして、町会の会館がないエリアへ提供等）
		市民センター、広場の整備
	行政運営	現場重視の市民と行政マンの協働
4	交通インフラ	先進的な交通手段の開発
	都市計画・居住環境	人口減少に伴う土地（空き地）の有効利用 住居・行政・医療施設の集約化

校区の特徴

- 地域が主体的に課題解決に取り組む意向に加え、行政との協働で取り組む意向もある。
- 地域コミュニティの強化や、多様な立場の人たちが安心して暮らせることを重視する声があった。
- 既存施設・跡地の活用、学校との活動や教育に期待する声があった。

(4) 第五中学校区

ありたい姿

気軽に集まれるような「居」
～ 親密なつながり～

心やすらぐまち ふるさとはちおうじ



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	未来を考えるためのワークショップの継続・定期開催 ポイント制の導入（交流ポイント・地域ポイントなどの発行・利活用）
	情報（発信、共有、デジタル化）	オンラインBOXの設置（いつでもつながれる電話BOXのようなイメージ）
	交流の場	リアルでもオンラインでも双方でいつでもつながれる場づくり
	行政運営	市内の学生の親向けにふるさと納税の活用
2	見守り・支え合い	ボランティアポイント制度の導入
3	子ども・子育て	子ども会活動の活性化
		子どもが興味をもつイベントの企画・実施 親の交流につなぐ
		子どもが「体験」できる場づくり（学びを通じたつながり）
		子ども食堂や日用品バンクなど、持続可能にするためのクラウドファンディングの活用

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	防災	地域に防災部会を立ち上げ（マップ、対象者リスト制作、組織化）

○「協働」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域と学校で協力した大規模な「あいさつ運動」の展開
	地域人材の育成	多世代交流コーディネーターの育成
	情報（発信、共有、デジタル化）	市のHPやFacebookを活用した、市民に届きやすい情報発信 市や市民活動のリストを配布するなどして、まずは存在を知ってもらう
3	スポーツ・文化・生涯学習	地域の伝統文化のアピール（地域内で楽しみつつ、外へも発信）

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	「ふるさと」を感じられるイベントの継承・創出
2	高齢者	若者による独居老人への支援の活性化

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	「あいさつ運動」を推進する市として宣誓
	行政運営	「八王子市親切都市宣言」の再アピール
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	八王子出身の文化人（作家、音楽家など）の登用
4	景観・まちなみ	花を植えるなど魅力ある景観づくり
5	産業振興	キャッチフレーズをつくってまちをPR

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	地域のコミュニケーションを活性化するための予算確保（各地域への展開）
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	八王子の伝統をアピールすべく「山車会館」の建立
		八王子市内の大学などのオープンカレッジの活用
4	防災	各戸への災害時に必要な情報の共有促進
		防火・防災エリアの構築
		防災意識を高めるべく、新設された防災公園の積極的活用
	公園・緑地	生き物を慈しむ心を育てるべく、動物園の設置

校区の特徴

- 「地域主体」&「すぐにできる」に意見が多く出ており、行政に頼らずに地域で(自分たちで)、という思いが語られていた。
- 住民が活動しやすいよう、まずは行政がきっかけをつくってほしいとの意見や、地域と行政との連携強化の意見も多くあった。
- コミュニケーションを重視する意見が多く出ており、そのための必要なこととして、「あいさつ運動」など、あいさつをきっかけにコミュニケーションを図るといった意見が多くあった。

(5) 第六中学校区

ありたい姿

子どもからシニアまで楽しく生きがいを持ってありのまま(自由)に暮らせる街

豊かな自然の中でだれでも安心して暮らせるまち



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	あいさつの励行 生活に役立つイベント・体験会の実施
	交流の場	市民企画による多世代向けイベントの開催
2	見守り・支え合い	地域の困りごとを地域で解決するお助け隊の組織化
3	子ども・子育て	住民同士の自主共同保育
4	都市計画・居住環境	住民からの区画整理の提案(空地を集いの場、子育て支援へ活用)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会加入の促進(イベント・祭り)
	地域人材の育成	テーマごとのボランティア活動の担い手を増やす
3	子ども・子育て	昼間に共同して子育てできる仕組みづくり
5	産業振興	八王子産の農産物を使ったクラフトビール作り、販売するパブの開店

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	学校の中に地域の人との交流を持てる場を作る
4	防災	防災に関するイベント・ワークショップ
	交通インフラ	自転車のシェアリングを増やす
5	産業振興	市が特産品の競技会、コンテストをする

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	集える場(サロン等)の環境整備
		安価で長時間居られるちいさなカフェ
5	産業振興	地元の野菜果物を特産品にする
6	自然・環境	プラスチックゴミが出ない購買システムにする

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	問題をくみ上げるシステムづくり
	情報（発信、共有、デジタル化）	ホームページの利便性を向上
		有効な宣伝（SNSの活用、駅前のモニター・ポスターを増やす）
交流の場	高齢者と子供との交流場所	
2	医療・健康	マイナンバーカードの活用やホームドクター制度により定期健診100%実現
3	子ども・子育て	学童や子どもを預かる場の充実
4	防災	ハザードマップの詳細化
	交通インフラ	駐輪場を増やす（特に駅前）
	都市計画・居住環境	空き店舗の活用（誰もが利用できるサロンなど）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	子ども～高齢者・障がい者が通えるデイサービス
	地域の拠点づくり	中心市街地にセンターを建て、多世代交流拠点にする
3	子育て	子育てに関する集いの場を確保する
	学校・教育	学校改築時には地域との交流を考えた構造にする
4	防災	災害に強い街に作りかえる
	交通インフラ	市内にLRT（ライトレール、次世代路面電車）を設ける
	都市計画・居住環境	医療刑務所跡の活用（イベント公園）
6	公園・緑地	用途を限定しない小さな公園整備
	自然・環境	小型でCO2を出さないモビリティ中心の社会にする

校区の特徴

- 町会・自治会加入率の低下などによる地域内の交流が希薄化しており、乳児から高齢者まで誰でも受け入れ、多世代でつながれる場所を求める声が多くあった。
- 子どもやマイノリティの人、障害者など、誰もがありのままに生きがいを持って生活できることを求めている。
- 八王子産農産物を特産品にしたり、特産品の販売やイベントの開催など、産業活性化に対する意見があった。

(6) 第七中学校区

ありたい姿

うちの町がいちばん!! ~つながりづくり~
つながり1番!!のまち



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	町会の会館の活用 (誰もが使いやすい、開かれた場をつくる)
	交流の場	お寺で定期イベントを開催 (お茶会など、集まりやすいイベントをお寺で開催)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	個人個人の得意領域・事項を提供し合える仕組みづくり
	地域人材の育成	デジタル活用のためのお助け隊
2	見守り・支え合い	地域のお助け隊を結成
		SNSを利活用して助け合いを実施
4	防災	合同防災訓練の実施
		親子が参加しやすいワクワクする防災イベント (炊き出しがある、消防車等に乗れるなど)

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報(発信、共有、デジタル化)	小・中学校の行事等の情報を回覧 (行事をきっかけに子どもたちに声をかけられる、親近感がもてる)

○「協働」&「時間がかかる」

意見なし

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	地域の活動を具体化する際の相談窓口の設置 (地域・住民と市役所担当課等をつなぐハブの役割を担う)
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	地域運動会・スポーツ大会の開催
		市内プロスポーツ選手によるスポーツ教室の開催
		市内大学生と小・中学生が参加するスポーツイベントの開催
		デジタル利活用のための教室の開催

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	定期的に地域住民が集まりやすい場所づくり
		空き家を改装して地域のコミュニティスペースとする
		多世代が学校に集まることを可能にする
	交流の場	夏休みの宿題等を地域の人が見てあげられる場づくり (高齢者と子どもの交流促進)
2	見守り・支え合い	お助けマッチングアプリケーションの開発 (困っている人と手伝える人をマッチングするためのアプリ)

校区の特徴

- 時代の移り変わりとともに、子ども会や地域の運動会などの住民同士が集まる機会が無くなってきているものの、昔ながらのつながりが残っており、このまちが住み続けたい1番のまちであるという意見があった。
- 子どもやその親世代等、多世代が交流するきっかけとなるイベントや場所をつくることで、つながりが生まれるのではないかという意見が多くあった。
- デジタルの活用や地域内に行政の相談窓口の設置等を望む声があった。

(7)ひよどり山中学校区

ありたい姿

誰でも集まれる場所・しくみがあり
緑と一緒にくらすまち



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	運動会や納涼祭などの地域行事を行う
	交流の場	小宮公園でイベントをする
		空き部屋サロンをつくる
		大学生から高齢者へのデジタル教室を行う
3	子ども・子育て	子ども食堂を開設する
6	自然・環境	みどりの公園・森を保全する活動に参加する

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	大学とのネットワークをつくる
		大学生が集まる機会をつくる
	交流の場	若者と交流するしくみをつくる
6	自然・環境	緑を保全する意識をもつ

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	まちをアピールする。SNSやバス停などを使う。
6	自然・環境	「緑と一緒に暮らす町ひよどり地区」を発信する（木を切ることは慎重に）

○「協働」&「時間がかかる」

意見なし

○「行政主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
2	高齢者	高齢者の退職年齢の撤廃（民生委員、保護司等）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	交通インフラ	はちバスを充実させる
		高齢者が活用できるように中型バスが乗り入れられる施設を用意する
		交通の利便性を高める
		ひよどり山の坂にエスカレータや動く歩道を設置する
		エスカレータや動く歩道を設置する
		京王線とJRを連結させる
	公園・緑地	小宮公園の中に子供から大人迄が遊べる施設を作る
		小宮公園を充実させる（多世代型、アスレチック・キャンプなど）
5	産業振興	文化的・商業的な複合施設をつくる

校区の特徴

- 若い世代との交流を重視しており、公園でのイベントや地域行事など、地域等とのつながりを生む制度やしきみづくりにより、地域主体の活動につなげられるという意見が多くあった。
- 豊かな自然の保全や活用を重視しており、自然に関する意識啓発などの意見があった。
- 坂が多い地区であり、交通インフラの整備を期待する声が多くあった。

(8) 甲ノ原中学校区

ありたい姿

既存の資源(ヒト・モノ・環境)を活かした
まちづくり ~ 高齢者にやさしいまちづくり
は子ども世代にもやさしい~

関わり合いの多様性から始まる地域
~きっかけ作りと巻き込む力~



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	防災の行事など地域の活動への多世代の参加促進 (既存組織の連携、活動継続が必要)
2	見守り・支え合い	「誰でも食堂」の開設(作りたい人、食べたい人が集う場所)
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	甲ノ原体育館プールを活用した教室・大会
		地域運動会の充実(住民が集まり、違う町会とも交流する機会に)
		将棋、百人一首、けん玉などの大会の開催
4	都市計画・居住環境	空き家の活用
	公園・緑地	公園の活用 ・町会単位の朝市の開催
	景観・まちなみ	通学路を花いっぱいにする
	安全・安心	防犯・防火のための夜回り隊(地域のコミュニケーションにも役立つ)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域の名称をコンテストで募集・決定
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	小学校の放課後子ども教室での持ち込み企画(地域の人が教えてくれる)
4	公園・緑地	公園の活用 ・朝カフェ向けの活用、展開 ・屋根付き休憩施設、地域の大学生がデザインしたベンチの設置

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	小学校給食の合同食事会(交流のきっかけづくり)
4	交通インフラ	民間タクシーと連携したワンコインタクシーの仕組みづくり
	公園・緑地	公園の管理整備に高齢者を活かす(有償化でやりがいづくり)

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
3	子ども・子育て	施設（児童館）の建て替え

○「行政主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	他地域の見学会の開催 町内会など組織運営への企業ノウハウの活用
	情報（発信、共有、デジタル化）	無料Wi-Fiの整備
3	学校・教育	PTAのフランチャイズ化
4	安全・安心	外灯（防犯灯）のLED化
5	企業（誘致、支援、連携）	空き家を利用したコワーキングスペースの整備（市の借り上げ、固定資産税の減免など）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	多目的・自由に使えるコミュニティセンターの整備 ・子ども食堂 ・相談センター ・ドッグランや子ども向けの遊具 ・カフェ、サロン、小コミュニティのたまり場 ・防犯拠点としても活用
4	交通インフラ	安全な交通環境のためのモデル地区の設定 ・道路に色をつける ・通学時間帯の交通ルールづくり
	公園・緑地	河原に中高生が遊べる公園の整備（サッカー場、野球場等）
		ウォーキングコース、トレーニングマシンのある公園の整備 ドッグランの整備（飼い主同士のコミュニティづくり）

校区の特徴

- 地域のさまざまな世代や活動に対する課題意識があり、住民が横断的に集い、交流できるよう、きっかけとなる場（機会・空間）を求める声が多くあった。
- 「地域主体」で既存資源（施設・設備・人材）を利活用する中で、地域の交流を深めたいとの声が多くあった。
- 地域や団体が活動を継続するための創意工夫、横断的な体制づくり、IT技術の活用といった意見があった。
- 交通の利便性や交通安全の観点を踏まえた道路環境に対する意見があった。

(9) 石川中学校区

ありたい姿

石川地区をスマートコミュニティへ
by 路面電車



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	町会間の交流の活発化
		石川町での食事会（交流の場）の開催
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	滝山城跡・歴史探訪への参加促進
6	自然・環境	地域里山ボランティアへの参加促進
		市民が利用する場所の環境保全、庭の手入れやピオトープ化

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	見守り・支え合い	地域の見守り活動推進（住民・ファミリーサポーターの登用）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	石川市民センターの充実（自然と人が集まる場づくり）
	情報（発信、共有、デジタル化）	石川地区のホームページやSNSの開設（対内、対外双方）
3	学校・教育	学校の授業に地域の人を講師として招聘
6	自然・環境	北部地区環境市民会議など環境を考える場への参加促進

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	既存施設を地域活動の場に活用（開放）
3	学校・教育	多世代交流で教育を支援（保育園から大学、そして地域を巻き込む）

○「行政主体」&「すぐにできる」

意見なし

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	高齢者	公共交通（路面電車など）を充実させ、高齢者の活躍の場の拡大
4	交通インフラ	多摩川右岸のサイクリングロード整備
		スマートモビリティ特区を設け実証実験開始
		路面電車の開通、観光資源化・ブランド力向上
	都市計画・居住環境	地域中核センター（ショッピングモール）の早期完成
6	自然・環境	「八王子環境賞」の創設

校区の特徴

- 公共交通の充実を求める声が多くあった。
- 地域内でほぼ全ての生活ができるようにしたいという声があった。
- 市民センターの利活用や、図書館などの施設で勉強ができるような環境の整備、多世代を巻き込んだ教育支援体制を求める声があった。

(10)横山中学校区

ありたい姿

つながりの生まれる場所
美味しい食事付き！
横山LOVE♥でつながろう



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域の店舗や施設からニーズを聞き取る
	地域の拠点づくり	集う場所のピックアップ
	地域人材の育成	小中学校で人材を募集する
		核となる人・団体選び
	情報（発信、共有、デジタル化）	横山地区のスーパー等に地区の掲示板を作る
町内会の掲示板→ワクワクするように見せ方を工夫する		
	交流の場	茶話会から始めて、徐々に楽しいイベントにシフトしていく
4	防災	非常食の試食会（おいしい！）

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域住民一人一人の役割の明確化
		福祉事業所や医療機関も巻き込む
	地域の拠点づくり	空き家を改修して拠点づくり→学生と地域の人材共同で実施
	情報（発信、共有、デジタル化）	地域の掲示板の導入
3	子ども・子育て	既にある地域資源を広げる→子ども食堂の2号店、3号店開設
5	企業（誘致、支援、連携）	飲食店とのコラボレーション

○「協働」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域の状況のリサーチ
	情報（発信、共有、デジタル化）	地域情報の共有
3	スポーツ・文化・生涯学習	地域ウォーキングの開催

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	学生に特化した地区（町）をつくる
2	見守り・支え合い	ボランティアポイントを使ってみる→企業の評価軸にボランティアポイントを導入する、ポイント制度を拡大する

○「行政主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	ラミネーターの貸し出し
	地域の拠点づくり	ハード（場所）の確保
		地域の会館の活用
		市民事務所・センターの使いやすさの改善
		（現）地域住民協議会の活用・発展（市民センター）
	地域人材の育成	中間支援組織との連携・活用、地域コーディネーターを増やす
情報（発信、共有、デジタル化）	それぞれの地区の紹介HPの新設（八王子行政主体+企業も）	
行政運営	人材派遣紹介情報の可視化（行政、市の人間管理化）	

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	（つながる目的の）切口の検討
	情報（発信、共有、デジタル化）	広報はちおうじの町会情報の開放orはさみ込み
		タブレットの貸与、支給
	交流の場	中学校に呼びかけ
	行政運営	実績をつくって、市で予算化（市がお金を出す）
モデル事業化		
軌道に乗るまでのサポート		
5	雇用・就労	横山事務所や各会館をリモートワーク用に開放してみる

校区の特徴

- 地元愛が強く、それを校区一体となるような「つながり」に活かせないかと模索していた。
- 町会・自治会等の地域活動の担い手の高齢化が課題となっており、若い力、アイデアを求めている。そのため、子どものうちから担い手候補を育成するとともに、大学生をもっと巻き込みたいという意見があった。
- 地域のつながりを生むための地域情報の可視化、コミュニティの場の確保を望む声が多くあった。

(11)長房中学校区

ありたい姿

～幸福度 の高い街・長房に向けて～
 安心して多文化多世代のつながりがある町
 長房

私たちが考える「幸福度」

- 安心・安全である（災害時、交通、病院等）
- “モノ”ではなく心が幸福である（趣味等）
- 生活の利便性が高い（インフラ、商業施設等）



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

2グループで共通して挙げられた意見

○「地域主体」&「すぐに見える」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	あいさつ運動、あいさつし合う環境づくり (知らない人同士がつながる、認め合う・感謝し合う)
		町会の中高生グループづくり
		地域の新しい取組に対する学校(校長)の理解を促す
		地域住民のニーズ把握
		地域の理解を深めるまち歩き (大人 子どもへ伝える、ホテル、長房ふれあいウォークの拡充)
	地域の拠点づくり	活動拠点の設置(コピオ長房の活用)
	地域人材の育成	長房地域リーダー認定制度の創設 (リーダー認定者へバッジ等を付与)
		長房地域リーダー育成講座の開催 (話し方・マナー講座、出張体験等)
		自治会が連携した講師役の募集
	情報(発信、共有、デジタル化)	WEBサイト「長房市民センター住民協議会だより」の活用・充実
		SNSの活用と口コミによる活動テーマに合わせた参加者募集
	交流の場	旧住民と新住民との交流の仕組みづくり
		世代間交流の活動と場づくり(コピオ長房の活用、学校との連携)
かまどベンチで料理交流		
趣味のコミュニティの充実(コピオ長房の活用)		
4	安全・安心	地域協力による子どもの交通安全の見守り(体制強化)
5	産業振興	長房ファームの充実・拡充 (構想づくり、造成、管理(アドプト制度))

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	防災	防災拠点づくり

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	地域コーディネーターの募集
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	歴史・環境（自然）の教育
4	防災	防災訓練の実施（単独町会ではなく、地域一体での開催）
	景観・まちなみ	きれいな街づくり

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	防災	防災訓練を兼ねたテーマ型イベントの実施
	交通インフラ	高齢者・障害者向けのタクシーの利便性向上
	公園・緑地	広場へのトイレの設置（管理は行政と協働）
5	産業振興	買い物難民の支援の仕組みづくり

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、 デジタル化）	市の広報でSNS発信に興味・関心のある市民を募集
	行政運営	市民（地域）からの声に対する迅速な対応 住民アンケートの実施（本当に求めていることを把握）
3	子ども・子育て	児童館の移転（子どもの交通安全対策）
	スポーツ・文化 ・生涯学習	スポーツができる施設・場所の確保 （若者が楽しめる、集まれる場所、トイレの整備）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域ワーク会（魅力あるイベント）への行政参加
3	学校・教育	小中一貫の施設の整備（長房小・船田小・長房中）
		南団地の子どもの小学校区を長房小学校へ変更
4	都市計画・居住環境	保育園、老人ホーム、小中学校等が併設する施設の整備 空き家対策の強化
	安全・安心	新アルプス開店により並木町側からの交通量増への対応、信号機設置
5	産業振興	空き教室の活用（道の駅）
6	自然・環境	地域内での太陽電池による蓄電（災害対策）

校区的特徴

- 「地域主体」&「すぐにできる」が多く挙げられ、自主的な取組に対する意見が多くあった。
- 地域リーダーの育成や、多世代を巻き込んだ活動づくり、地域の拠点づくりへの意見があった。
- 行政に対しては、交通インフラの整備や買い物難民への支援、空き家・空き教室などの利活用を期待する声が多くあった。

(12) 館小中学校区

ありたい姿

自然と共に思い出のあるまち
(人とのつながりを大切にする)

あいさつで始まる館ヶ丘



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域でのあいさつ、あいさつのための標語づくり
		雑談力を養う
		住民が参加したくなる町会活動や行事(例:書道展など)
		大人と子どもでラジオ体操
	地域の拠点づくり	商店街広場にオープンカフェの設置
	大学・学生との連携	小中高大の学校と連携し、あいさつ運動の実施
1	情報(発信、共有、デジタル化)	地域行事や町会活動をSNSで発信
	交流の場	町同士の交流機会を増やす(近くの町との共催イベント開催等)
		住民の得意分野を教え合う場の提供(例:家庭菜園など)
バーベキュー大会		
2	見守り・支え合い	困りごとお助けボードをマッチング(出来ること、してほしいことの記入)
		安否確認のための仕組みづくり(例:窓から旗を出す)
6	自然・環境	ホタル観察会の開催
		地域清掃・環境整備

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	学校と地域の合同イベント(学童、児童館から始めたらやりやすい)

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
2	見守り・支え合い	高齢者の食事や買い物など住民同士で助け合い
3	子ども・子育て	子育て実態調査の実施
	スポーツ・文化 ・生涯学習	地域の歴史に関する本や紙芝居をつくる（学校の教材化できれば良い）

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
3	学校・教育	人を信用できるような教育
4	交通インフラ	アップダウンが多い地形のため、「どこでもドア」のような便利な移動手段

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
4	安全・安心	警察のパトロールを増やす

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	学校行事の地域への公開・合同開催（例：運動会、防災訓練）
3	学校・教育	小中学校同士の交流会

校区の特徴

- 「地域主体」&「すぐにできる」が多く挙げられ、特に、多世代交流を目的としたイベント開催や場づくりに対する意見が多くあった。
- 学校や町会・自治会などの地域団体が地域に開かれたものであることを望む声があった。
- 地域の資源である歴史や自然を次世代へ継承していきたいという意見が多くあった。
- 行政に対して、「防犯」や「学校と地域の連携」における既存ルールやシステムの改善を求める意見があった。

(13) 梶田中学校区

ありたい姿

自然と文化を通じた多世代交流のまち
梶田

豊かな自然の中でみんなが笑顔で集える町
梶田



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	世代ごとに魅力を感じる地域イベント等の窓口をつくる (例：子育て世代向け) 特技を生かした団体をつくり地域の活性化につなぐ
	情報(発信、共有、デジタル化)	学生等に湯殿川の魅力をPR(SNSの活用)
3	子ども・子育て	塾を活用して学ぶ場をつくる
	スポーツ・文化・生涯学習	八王子大人検定免許の実施 (子どもの手本になるような大人の教育を行い、検定や免許交付を行う) マーチングバンドといえば横山といわれるように
4	防災	子供に防災の大切さを教える
	景観・まちなみ	家の前に自分の好きな花や「町の花」を置く一鉢(八)運動の実施
6	自然・環境	愛着醸成の為に親子で参加できる森の再生イベントを実施
		ホタル祭りのできるホタルが住める町のために「ゴミを拾う」「捨てない」を広報

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
3	スポーツ・文化・生涯学習	寺子屋を作る
	子ども・子育て	空き家を活用した子ども食堂の実施
6	自然・環境	親子で森の再生

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	市がボランティアを取りまとめ派遣するサービス(事例：センター元気)
4	公園・緑地	公園広場の多目的での利用(バーベキュー、火あそび、どろんこ広場等)

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	医療・健康	医療機関とのマッチング
3	子ども・子育て	空き家を活用した子どもの教育の場づくり（居場所）
4	交通インフラ	子どもが自由研究の為、自由に無料で乗降できる八王子版山手線（バス）の整備

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	行政が川の魅力をもっとPRする
	行政運営	情報発信の仕方について市職員に教育の機会を提供
3	子ども・子育て	子供が困ったときに相談場所にたどりつけるようにNTTと協力して公衆電話の教育・周知（設置場所・使い方）
	学校・教育	学校のHPで川の魅力を教える

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	市民センターの利用料を安くする
	情報（発信、共有、デジタル化）	公共施設にWi-Fiを整備
4	交通インフラ	サイクリングロードの整備
5	産業振興	空き店舗のマッチング
6	自然・環境	湯殿川の全線整備

校区の特徴

- 地域内には、商業施設や病院もあり、湯殿川をはじめとした自然豊かな住みやすい環境が整っているという意見があった。
- 共働き世帯も多い中、地域で子どもを見守り育てる環境の充実が必要という意見が多くあった。
- マーチングバンドや自然環境など、既存の資源を活かした地域への愛着を育てていきたいとの声があった。

(14)元八王子中学校区

ありたい姿

ウェルカムな街 もとはちおうじ
～すべての人に安心・安全な美しい街～

大人も子供もつながりを大切に
仲が良い元八王子



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域内での挨拶、子どもや若い人への声かけ、顔の見える関係作り
		地域活動への子どもたちの参加
		地域活動を通じたやりがいの創出
		北条氏照まつりへの積極的な参加
	交流の場	花植え活動等、様々なきっかけを通じた交流、花畑のあるまちづくり
		みんなが参加できる地域イベント、住民交流（さんま祭り）
2	高齢者	高齢者向けの買い物・食事支援
3	学校・教育	地域の人による、小学校での八王子ならではの授業（段ボール甲冑作り、元八王子の歴史授業）
		子どもたちの学習支援

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
3	子ども・子育て	民生委員と地域とで子どもの情報について共有

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会加入促進
	地域の拠点づくり	支援センターの活用
	情報（発信、共有、デジタル化）	情報共有ポスティング
		掲示板の活用
	交流の場	地域交流の場としての各町会会館の利用
3	スポーツ・文化・生涯学習	八王子市の歴史バスツアー（ガイド：地域の方）
	学校・教育	地域と小学校で実施する交通安全訓練（通学路で実施）
6	自然・環境	美化活動、ごみの回収ボランティア袋を各戸へ配布

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	バス停に掲示板を設置し、地域の情報を共有
2	高齢者	高齢者が活躍できる場づくり
3	学校・教育	高尾山学園へのスクールバス
4	交通インフラ	はちバスの運行ルート見直し、地域住民による運行ルート決め

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	地域活動の拠点としての小学校活用

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	小学校内に地域の方や入学前の子どもが来られる常設の部屋を設置
	情報（発信、共有、デジタル化）	地域の情報を掲示できるよう、商業店舗へ行政からの声かけ
2	高齢者	はちバスを活用した高齢者の移動支援（病院やショッピングモールへの移動）
4	交通インフラ	モノレール整備
	都市計画・居住環境	道路の拡幅・歩道の整備、区画整備
		電柱の地中化
		多世代が楽しめる公園や複合施設
公園・緑地	憩いの場としての公園の整備	
5	企業（誘致、支援、連携）	企業誘致

校区の特徴

- 多世代のつながりや、多様な立場の人との交流や助け合いを重視する意見が多くあった。
- 地元への愛着を育てるために、地域のお祭りへの積極的な参加や、小学校での地域に関する授業実施が必要という声があった。
- 道路拡幅や交通インフラの整備を通し、利便性の向上や安全性の確保を望む声があった。

(15) 四谷中学校区

ありたい姿

ささやかな心配りが心地よい四谷
世代をこえて地域一体となった1つの街
四谷地区



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	あいさつ運動の実施
		健康づくり・体力づくりのためのラジオ体操の実施
		町会による「ささやかな心配り」の実施（町会から子育て世帯へのお祝い金や、引っ越してきた家への挨拶など町会がうまくいっている地域の雰囲気が良い）
		家庭・学校・地域が行事に参加（伝統行事の継承）
	交流の場	各小・中学校と町会との交流（大掃除や七夕など）
		学校・PTA（父親も含む）・市民・企業の一体となったイベントの企画（キャンプ場等を活用し町会統合のお祭りやイベント）
3	子ども・子育て	子ども会等での街歩き（豊かな自然を感じる活動）
	スポーツ・文化・生涯学習	町の歴史や伝統を地域から発信（歴史を大事にした町づくり）
4	安全・安心	近隣住民同士の声かけ

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	町会による広報配布（町会内のコミュニケーションのきっかけづくり）
		LINEやメールを活用した町会情報共有
3	子ども・子育て	子ども会で一日保育などのサポート（保育サポートがあれば交流のイベントなどに参加しやすい）
4	交通インフラ	地域内での乗り合いの仕組みの構築（ミニ「はちバス」の創設）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	地域人材バンクの創設・公的支援 (昔あそびの継承・様々なキャリア教育機会の拡充)
	意見交換の場	学校のコーディネーターと地域の方の交流・意見交換の場の設置
3	子ども・子育て	ファミリーサポートの周知と活用
	スポーツ・文化 ・生涯学習	放課後子ども教室と地域ボランティアとの協働(シニアなど)
	学校・教育	小・中学生による八王子の歴史新聞の作成 (小・中学生の地域参画意識を高める・歴史の情報発信)

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地元企業・町会と学校をつなぐ(子どもの企業見学、学校への支援)

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
4	都市計画・居住環境	都有地の市有地化(防災公園や避難所、イベント会場としての活用)

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	子育て世帯の多い町会への補助金を増額
2	高齢者	ボランティアによる車両貸出(NPO法人八王子共生社会推進会議「もやい」)の活動拡大
3	子ども・子育て	雨の日でも子どもが室内で遊べる場所の整備 (例)町田市「子どもセンターばお」
4	交通インフラ	バスの代用として老人ホーム、介護施設等のバスを利用出来るようにする
		自転車道の拡大
		歩道の整備(段差をなくす、広げる)
公園・緑地	浅川周辺の公園やスポーツ・キャンプ施設の整備	
	防災・備蓄の機能を備え、多世代の交流の場となる公園の設置	
6	自然・環境	川沿いの遊歩道の整備

校区の特徴

- 住民同士での横のつながりはあるが、縦のつながり(多世代のつながり)が希薄であることを課題と考える参加者が多かった。
- 参加しやすい町会・自治会の体制や負担の少ない行事の開催など、日常的な心配りを重視した地域コミュニティづくりが必要であるという意見があった。
- 子育てや次世代への教育に対する投資意識があり、多世代や地域ぐるみで支援したいという意見があった。
- 交通インフラの整備と公園設置を期待する声があった。

(16) 横川中学校区

ありたい姿

住んで良かったまち 横川

教え合い、育て合う、人とのつながりが
深まる横川



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	住民主体の挨拶運動を行う
		子どもをターゲットにした町会活動をして若い人に入ってもらう (新入生にお祝いをあげるなど)
	交流の場	地域の世代を超えて交流する学校行事や町会活動を行う
		お祭り等をとおして、世代をこえた交流を行う
2	男女共同	女性が参加しやすい日時で会議や集会などを行う
	見守り・支え合い	住民主体の見守り運動を行う
3	学校・教育	横川小音頭を復活させる
		小学校で地域の人が地域のことを話す場を作る
4	防災	防犯運動を機会に世代間交流を図る
	景観・まちなみ	花いっぱい運動を行う(幼~小学校)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会員を増やす努力を行う
		町会よりも小さな単位の集まり、つながりを容認する
	交流の場	銭湯を作って交流を図る
3	情報(発信、共有、デジタル化)	情報の共有として町や町会の広報誌作り
	スポーツ・文化・生涯学習	横川うめ子さんのキャラクターを作成

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	学校の空き教室を活用し、コミュニティを学ぶ場（サロン）を作る（シニアがデジタルを学ぶ）
2	高齢者	高齢者のデジタル化を促進する
3	スポーツ・文化・生涯学習	プレートを利用して歴史、建物、木、花等々について、町の人に知らせる、歴史を知ってもらう 特技を持つ人によるイベントを行う
	学校・教育	大人向けだけでなく、子供向けの講座を行う（人とのつながり、付き合い方）

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	横川会館を民間運営にする
		学校を交流の拠点にする、開放する
3	学校・教育	学校運営協議会活性化

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
3	スポーツ・文化・生涯学習	地域の良さを認識してもらうために、広報誌などで歴史について知らせる（情報提供する）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会活動にボランティアポイントを付与する
		教育として見守り、挨拶運動を行う（地域と一緒に）
	地域の拠点づくり	空き家を活用したサロン作り
		人が集まる施設を用意する（市民センターや商業施設など）
大学・学生との連携	協力して行うイベント活動を授業の単位として認める	
	情報（発信、共有、デジタル化）	自治会、町会へタブレットを支給する
4	都市計画・居住環境	工学部の学生による空き家のリフォーム（コンペティションをするなど）
6	自然・環境	浅川沿いを遊歩道にする

校区的特徴

- 地域内での交流を活性化させることを重視しており、その中でも「地域主体」&「すぐにできる」とへの取組に対する意見が多くあった。
- 交流する場として、既存施設の活用に対して期待する声が多くあった。
- 歴史や文化を重んじており、継承や活用についての意見があった。

(17) 城山中学校区

ありたい姿

Shoku(触・食・職)で人がつながる街
 「緑」と「歴史」に恵まれた安全・安心で
 笑顔にあふれた まちづくりを目指して



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	近所でのあいさつ、声かけ活動の推進
	地域人材の育成	自分たちも楽しみ、学べるボランティア活動の推進 (お試しボランティアなど、トライアルの機会を増やす)
2	見守り・支え合い	全世代が利用できる食堂「だれでも食堂」の開設(食を伴わなくても可) 子ども食堂の拡充
3	子ども・子育て	中高大学生にボランティアポイント制度の導入(子どもケアに若者の力を)
	スポーツ・文化 ・生涯学習	地域資料(歴史・文化・民俗)のアーカイブ化
	学校・教育	小学校の学習支援に高齢者の活用促進 放課後の学習会の実施など、誰も取り残さない学習支援の推進
4	防災	地域で互助がやりやすくなるよう防災訓練の積極的実施
	景観・まちなみ	元八王子地区の八十八景の選定・展示 ホームページ化
5	産業振興	既存施設のPR,活用推進(高尾の森 自然学校やわくわくプレッジなど)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会自治会への加入率を上げる
	交流の場	きょうよう(今日用)・きょういく(今日行く)活動の場づくり
6	自然・環境	里山や休耕地の宅地目的以外の利活用

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	学校・空き教室を解放し、交流の場として活用(開かれた学校)
2	高齢者	行政・地域それぞれによる高齢者の集まりやすい場づくり

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域のお祭りの実施（維持・運営）
5	産業振興	農業体験や農業スクールの開設

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	空き家を利活用し、コミュニティ広場へ
	地域人材の育成	ボランティア研修の実施
2	高齢者	介護タクシーの充実、タクシークーポンの発行 （介護に閉じない活用も視野：赤ちゃん支援など）
		高齢者にタブレット端末の支給
		独居高齢者の把握（行政からの支援が必要）
		シニア学習教室の開催
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	「雑学大学」の開校（高齢者の活躍の場にも）
4	都市計画・居住環境	安価に住宅を提供し、住みやすい選ばれる街へ

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	八王子城の復元
4	交通インフラ	安全な通学路、小学生専用道路の整備
		元八王子へのモノレール整備
	公園・緑地	交流の場として公園の活用見直し （防災公園の平時の活用や誰もが使えるようなルールの見直し等）
		災害時に活用できる公園の整備 （避難場所、交流の場、トイレ・炊事場 等）
6	自然・環境	八王子に大きな森林公園の設置
6	自然・環境	北浅川の洪水対策強化

校区の特徴

- 高齢者が情報化社会の中で取り残されないような支援として、「高齢者にやさしいまちづくり」に関する声や高齢者の学びの場を求める声が多くあった。
- 地域の人口減や高齢化の対策として、世代交代や若者の流出防止、若い世代の移住を期待する声があった。
- 人と人とのつながりを重視した世代間の交流などに学校を活用したいという意見があった。

(18) 恩方中学校区

ありたい姿

「情報発信」と「交流」で良い(イイ)加減の地域

恩方観光地プロジェクト
～みんなが主役！たのしくすごせる恩方



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域の魅力を掘りおこす町あるき 住民の知識・特技を活用したワークショップイベント
	情報（発信、共有、デジタル化）	今、行っている活動を発信していく 地域の人を楽しむ姿を発信
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	伝統芸能を次の世代につなげる、SNS・実際に参加してもらう
		地域の住民から地域の歴史を学ぶ
		伝統食の学び
4	交通インフラ	地域ハイヤーいつでも呼べて移動できる
	都市計画・居住環境	空き家の管理を請け負う
5	企業（誘致、支援、連携）	地域経営、運営団体（株式会社）をつくる、意欲のある人を集める
		企業誘致

○「地域主体」&「時間がかかる」

意見なし

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	拠点づくり集まれる場
	情報（発信、共有、デジタル化）	やりたいを集める・ひろめる 掲示板 ネット、リアルも
	交流の場	イベント開催（グランピング・古民家宿泊体験・農業体験・ホテル観賞・釣り）
2	見守り・支え合い	私の得意”人材登録バンク みんなの得意を登録してマッチングをしてみたい
		有償(格安)ボランティアによる軽作業
5	産業振興	活発な施設を助成「つり堀」「夕やけこやけの里」 農産物の加工所
	雇用・就労	ワーケーション

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	意見交換の場	意見交換Café募集 指定 公開
5	産業振興	間伐などの残材の利用 興味のある人も呼び込んで協力してもらう
		学校をホテルに改修
		温泉を掘る
		ジビエのための準備・解体施設を作る 野獣の駆除と活用、おいしいものを提供する

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	行政(市)・リーダーが必要・地域活性化リーダー育成講座 人材育成(発掘)
	情報(発信、共有、デジタル化)	市のHPバナー(大きめに)本日の話 進めるプロジェクトの公開
3	学校・教育	学校の連携高校-中学-小学体験学習(学校間の仲を深める)
4	交通インフラ	交通網の整備
	都市計画・居住環境	土地利用に関する規制の緩和

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	交通インフラ	道路整備 トンネルを掘る 他地域の観光資源への道をつなげる
	都市計画・居住環境	財政支援空き家整備 空き家の保護、貸与 古民家買い上げ保護 定住につなげる支援
5	産業振興	ジビエの活用 ジビエ・農作物加工所設置

校区の特徴

- 「地域主体」&「すぐにできる」が多く挙げられ、地域で主体的に課題解決に取り組む意向がある。
- 次世代に対して自然や伝統文化を守り伝えたい気持ちが根付いている。
- 空き家や遊休施設の増加という課題に対し、住民や来訪者の交流の場に活用しようという活動が行われている。

(19)川口中学校区

ありたい姿

住みたくなる、住み続けられる町
川口地区 ~今ある資源、特色を活かして~
自然と共生し、大人から子どもまで
関わりあえる街 川口



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	近所でのあいさつ
		自治会、町会への積極的な参加を求める
	大学・学生との連携	町会・地域活動に若者(大学生・高校生)のアルバイトとして参加してもらう
	情報(発信、共有、デジタル化)	地域での情報共有、SNSの活用
		PR方法の検討、紙より人のおしゃべりで
	交流の場	公園でラジオ体操、笑いヨガ、お祭りやイベントでの交流、JAでの野菜販売等
お茶のみ、話しができる場所作り、子ども食堂		
地域寺小屋、子どもが地域の人に勉強や運動、遊びをおしえてもらう		
2	見守り・支え合い	地域での見守り隊をつくる(一人親家庭、老々世帯、一人暮らし高齢者)

○「地域主体」&「時間がかかる」

意見なし

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会活動の見直し、人が集まれる仕組み、人があつまれる町会(サロン)作り
		地域と学校との連携活動。そのための情報共有や広報活動
3	スポーツ・文化・生涯学習	放課後子ども教室の充実 ボランティアの人が学校の空き教室で宿題をみってくれるシステム
	学校・教育	中・高・大学生などが市長や市議会議員へ直接意見を伝えられる機会をつくる 小・中は授業内で話し合う時間をもつ
4	都市計画・居住環境	空き家活用の利用と空き家情報
		空家・遊休農地を再利用し易い環境を作る
5	産業振興	地域資源(観光・自然・野菜etc)をアピールしていく場所の整備

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	資源を最大限活用する(高齢者あんしん相談センター、学校等)
	交流の場	大きな公園が出来る予定なのでそこでの交流
2	見守り・支え合い	助け合いのしくみづくり、ネットでマッチング(高齢の方も利用しやすい方法は要検討)
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	学校をカルチャースクールに活用(有料・無料)、(子ども向け、大人向け)
4	都市計画・居住環境	マンションとお店の複合施設

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	無償ではなく活動者に補助を出す(有償ボランティア PTA、町会等)
	地域の拠点づくり	拠点を核としてのサテライト施設の整備(さまざまな活用拠点とする)
	情報(発信、共有、デジタル化)	市のHPで町会毎のページ
2	見守り・支え合い	ボランティアしやすくなる仕組みづくり(ポイント制の導入など)
3	子ども・子育て	地域の差のない子どもの居場所・時間・費用の確保
	学校・教育	学校の整備(複合施設)、いずみの森と同じように
5	企業(誘致・支援・連携)	業者と地域、PTA等のマッチング
	雇用・就労	育児をする親の働く時間を短くする(例)午前中、15時まで
6	自然・環境	遊歩道の整備(浅川、川口川)

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	子育て世代の地域活動への参加(助成)
	行政運営	職員の人事異動を減らす
2	高齢者	高齢者の困り事について助けになる情報をテレビで発信する
3	子ども・子育て	子育てにかかる費用負担の軽減
4	交通インフラ	移動支援、全世代対象(とりわけ喫緊は高齢者)
		交通の利便性を上げる(バス、タクシー、電車、モノレール)、病院/学校/買い物
5	企業(誘致、支援、連携)	空き家と通信網を整備し、大学からの起業家を誘致・サポートする(補助金含む)
		スーパー、病院の誘致

校区的特徴

- 「地域主体」&「すぐにできる」が多く挙げられ、地域で主体的に課題解決に取り組む意向がある。
- 地域コミュニティの育成や、多様な立場の人たちの交流・助け合いを重視する声があった。
- 既存施設の活用や、施設の複合化・拠点化を期待する意見が多くあった。
- 交通インフラの整備は、長年に渡る課題として認識している参加者が多かった。

(20) 檜原中学校区

ありたい姿

地域ぐるみで知り合い、助け合える街・檜原
子どもとシニアが集える場所づくり



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域の各団体による横の連携強化 (同じ校区内での情報交換、役割重複の解消による負担軽減)
		クラウドファンディングを活用した活動資金集め
		地域コミュニティ活動のカレンダーの作成・発信
	地域の拠点づくり	地域活動に対しての町会会館等施設の貸出
		学校内に地域住民専用の教室を作る 駄菓子屋や喫茶店のような、みんなが共有できるスペース作り
	地域人材の育成	ITなど実務に長けた個人スキルの活用
情報(発信、共有、デジタル化)	Wi-fi設備の充実	
	交流の場	子どもとシニアが集える場所作り (子どもの学習補助と、シニアの認知症等の予防につながる)
2	見守り・支え合い	ボランティア集団の結成(地域で力を合わせた清掃活動等)
4	都市計画・居住環境	犬目尾根のウォーキングロード整備(浅間神社の活用)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	婦人補導院跡地や少年鑑別所跡地等を利用した、シニアや子ども、障害者等が集まれる場所の設置
	情報(発信、共有、デジタル化)	会議等の情報発信に町会たよりやSNS等を活用

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	若者や子どもなど、これからを担う世代の住民ワークショップ等への参加
	地域の拠点づくり	地域活動や勉強等での空き家の活用推進
	情報(発信、共有、デジタル化)	地域版の情報発信、市ホームページを分かりやすく
3	子ども・子育て	子どもに対する支援や居場所づくりの実施
4	都市計画・居住環境	活用可能な空き家情報の公開

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	市からの委託による地域拠点の運営（委託費用が必要）
		小学校の一部を開かれた地域福祉拠点として活用（地区内に集まれる場が非常に限られるため、開ける場を増やす必要がある）
4	公園・緑地	のびのび遊べる公園の充実（禁止事項の多い公園と自由に遊べる公園の情報公開が欲しい）
	安全・安心	治安が良く安全安心な地域づくり（安全パトロールの強化）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	活動団体のリストアップ
3	学校・教育	他地域から来ている学校教員の地域理解の向上
4	都市計画・居住環境	区画整理や道路工事などによる将来像の提示
	安全・安心	交通安全の強化、自転車走行帯の拡幅

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	住民一人一人の負担が少ないまちづくり
	交流の場	戸板女子短大跡地を利用した、シニアや子ども、障害者等が集まれる場所の設定
	行政運営	市の予算の適正化（使用しない場合は返納）、予算の利用条件の緩和
2	医療・健康	地域の医療や福祉の充実
	高齢者	高齢者人材と地域での働き・活動のマッチング（担当課の設置）
4	交通インフラ	交通便利性の向上
5	産業振興	商業施設の充実

校区の特徴

- 若い世代が地域のPTAや町会・自治会など、積極的にまちづくりに参加している。
- 地域活動やコミュニティ施設の管理を担う人材を地域で確保する一方で、行政に対しては、様々なニーズに合わせた「場所」の提供を求める声が多くあった。
- 地域活動において有償ボランティアのしくみを整えることが、人材の確保や責任感につながるとの意見があった。

(21)加住小中学校区

ありたい姿

世代をこえて、みどり豊かな住み良い
まちで心豊かに生きる

笑顔あふれる子どもから大人まで
一緒に成長できる加住



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐに見える」

都市像	分野	必要なこと
3	子ども・子育て	子供を育てる土壌づくり（子育てママの会、地域キッズクラブ、親子で参加できるボランティア）
	スポーツ・文化 ・生涯学習	美術館の無料デー・地域開放デーの設置
	学校・教育	通学路の環境整備（草刈りデーをつくるなど）
4	交通インフラ	買い物バスの運行（循環バス）
	安全・安心	通学路での子供の見守り（地域住民による声かけなど）
5	産業振興	畑をやってみたい人たちの町内農業体験会

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	大学生と市民がふれ合う場づくり（学生優遇食堂）（世代間交流）
3	子ども・子育て	子供食堂たちあげ
6	自然・環境	谷地川環境整備 （例、谷地川にホタルをとりもどす会の立ち上げ・要望書の提出）
		防災に強い地域森林の整備（住民主導）

○「協働」&「すぐに見える」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、 デジタル化）	SNS活用（イベント等の発信）
3	学校・教育	子供向けアプリ（タブレットの活用）
		小学校のバスの無償化
5	産業振興	農業ボランティアや学生や若者と農業従事者へのかけはし
		「滝山城主」の一般公募（整備費用の捻出）
		農業と観光での集客
	雇用・就労	在宅ワーク用Wi-Fi整備
		地域内に働ける場所の提供

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	複数の拠点整備 (地形が細長く一か所に集まるのが困難である点を解消するため)
2	高齢者	地域の野菜、食材を使った、高齢者の働ける地域食堂
3	学校・教育	小中一貫校の整備(加住小中学校)
4	交通インフラ	バス料金の値下げ
6	自然・環境	谷地川沿い整備(通学路整備・フットライト整備)

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
5	雇用・就労	シルバー派遣に年齢制限を作らない(子育て世代でも参加できる有償ボランティア等の整備)

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	交通インフラ	モノレールの実現
		気軽に使えるタクシー整備
	都市計画・居住環境	大イベント開催可能な施設づくり(杏林大学跡地の有効活用)
		空地の有効活用(行政による土地の買い上げなど)
5	産業振興	滝山城跡に売店設置
6	自然・環境	下水道整備
		谷地川整備 (清掃の立ち入り許可・都と市の連携による環境整備の推進)

校区の特徴

- 子育て支援や自然環境の整備などに地域ぐるみで積極的に関わっていきたいという意見があった。
- デジタルツールの活用や地域単位で集まれる拠点等のインフラ整備を求める声が多くあった。
- 子どもたちが自由に遊べる公園の整備、高齢者や子どもたちのための交通手段の充実に対する意見があった。
- 環境面に関する話題が多く、特に谷地川等の自然は魅力である反面、防災面での課題を感じているという意見があった。

(22) 由井中学校区

ありたい姿

懐かしさと新しさが混じりあう
誰でも居心地よく楽しく交流できる
住みよいまち



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	コロナ前に実施していた地域交流イベント（地域サロン、夏まつり、文化祭等）や地域活動（パトロール）などの再開
	情報（発信、共有、デジタル化）	回覧板のSNS化
	交流の場	大学生等が、幼児や小中学生に勉強を教えたり、一緒に遊んだりする場づくり
2	子ども・子育て	子育て中のお母さんの息抜きの場づくり（ヨガ、料理教室、昔遊び）
3	学校・教育	小・中学校合同のイベントの開催
4	公園・緑地	片倉城跡公園の利用促進に向けたPR活動

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	小学校、神社、町会会館等の馴染みのある場を活用した世代間を繋ぐ寺子屋の開催（学びと食）
3	スポーツ・文化・生涯学習	各世代への教育支援の確立

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域づくりの処方箋（地域カルテ）を作成及び見える化

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	人財と人財を繋ぐコーディネーターの設置
	情報（発信、共有、デジタル化）	地域の人財情報を集約するデータバンクの作成
	行政運営	地域住民がやりたいと思っていることを形にするためのサポート体制づくり（費用・制度の充実）
4	公園・緑地	地域住民が望む公園の整備

○「行政主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	リモートを活用した、お年寄りの孤立を防止するための新しい交流の仕組みづくり
	行政運営	人口減少にあわせた市民生活を支える行政運営の充実
4	交通インフラ	コミュニティバス「はちバス」の運行の拡充
	都市計画・居住環境	道路整備・街づくりにおける住民と行政との連携・話し合いの場づくり

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	小学校等を中心とした公民館の分館や事務所機能等の集約
		空き家を活用した地域の様々な拠点づくり
4	防災	電柱の地中化による災害に強い街づくり
	交通インフラ	高齢者や子育て世代、障がい者等に配慮した段差のない歩道の整備
	都市計画・居住環境	集約型施設の土地確保・施設誘致

校区の特徴

- 「地域主体」&「すぐにはできる」が多く挙げられ、地域で主体的に課題解決に取り組む意向ある。
- 誰もが安心して暮らせるように顔が見える関係性づくりを重視し、多世代や様々な立場の人たちの交流を目的としたイベント開催や場づくりを求める意見が多くあった。
- まちづくりへの住民の参加意欲は高く、行政との話し合いの場や取組方針の事前共有などを望む声があった。
- 行政に対しては、道路のバリアフリー化やインフラの整備など、地域には担えない場所や予算の確保、制度整備を期待する声が多くあった。

(23) 打越中学校区

ありたい姿

えがおで つながる 広がる(持続可能)
 ほっとする(安心・安全)
 ~魅力あるまち 北野にきてね ~



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	近所の人達に目を向け、あいさつし、助け合える環境づくり
		みんなが思いやりをもてる気持ちの浸透・意識づくり
		互いに無理をしない役割分担
	地域の拠点づくり	神社・寺・集会室を利用した地域住民の居場所づくり
交流の場	若者と高齢者との交流の促進(クラブ活動の手伝い等)	
	情報を教えてくれるような居場所づくりや、ワークショップ実施	
3	子ども・子育て	地域をまきこんだ子ども食堂の運営
	学校・教育	学生や高齢者による小中学生への学習支援の実施
	多文化共生	外国人の多い地域特性を生かし、地域の多文化化
外国の方への日本語教育や、外国の方から言語や文化を学ぶ場づくり		

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	地域団体が交流できる拠点づくり
	地域人材の育成	地域の未来を託せる人材の育成
2	医療・健康	地域の福祉活動の事業化

○「協働」&「すぐにできる」

意見なし

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	地域の活動が継続できるように地域と行政の連携強化

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	既存の団体を活かし、上手につながる仕組みづくり
4	公園・緑地	魅力のある遊具のある公園の増設

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域の活性化という目的遂行のために、わかりやすいシステムとし、組織化する
	意見交換の場	学校関係者、行政、地域、三者間の定期的な情報交換の場づくり
	行政運営	「地域づくり推進事業」の地域コミュニティへの委託化（予算化）
2	見守り・支え合い	困っている人、支援が必要な人が助けを求められることができる環境作り
3	子ども・子育て	学童保育所で食事を出せる体制の整備
5	企業（誘致、支援、連携）	地域活動はボランティアだけでなく、企業の支援を募るなどして事業化推進

校区の特徴

- この地域は、外国人居住者が多いため、国籍や年齢に関係なく様々な方たちが交流し、お互いを助け合えるような地域にしたいという声が多くあった。
- 町会・自治会、学校運営協議会、子ども食堂などの地域活動を活性化するために、課題の共有やその解決に向けた議論などができる場が必要だという意見があった。
- 地域と行政のさらなる連携を求める声も多く、行政への期待もある中で、若い世代の意見も取り入れながら、自分たちでできることから始めたいという意見が多くあった。

(24) みなみ野小中学校区

ありたい姿

誰にとっても私の居場所♥みなみ野♥

みなみの愛♥

～自然を愛する、人を愛する～



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	気軽にあいさつできる地域の雰囲気づくり
		みなみ野地域25周年記念行事
		学校、企業、地域、市が参加するシンポジウム
		みなみ野のシンボルをつくる(キャラクター・花等)
	地域人材の育成	得意分野毎の地域プロ人材を発掘し、地域活動につなげる
	情報(発信、共有、デジタル化)	誰もが閲覧できる、みなみ野新聞
		地域独自の情報誌の作成、スーパー・駅に掲載
		ICTやSNSを活用した、みなみ野文化・暮らしの発信
交流の場	ランチルームの再開	
	常設のイベント広場	
2	高齢者	高齢者が気軽に行ける場所をつくる(送迎付き)
5	企業(誘致、支援、連携)	地域企業ツアーの開催
6	自然・環境	ゴミのないきれいな町を目指すための住民の意識づけ(清掃事務所見学等)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	駅前でおまつり(昔あったものを再始動)
	情報(発信、共有、デジタル化)	みなみ野コミュニティDX(自律型コミュニティ)
		工科大の学生と連携し、みなみ野のホームページ作成
	交流の場	地域合同スポーツ大会
	意見交換の場	情報交換ができるフリースペースの設置

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	まちづくりコミュニティ・デザイナー育成プログラム
	大学・学生との連携	大学生たちと一緒にふれあいの場を運営
6	自然・環境	植樹・花畑をつくる
		新たな里山文化の創造

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	空き教室に地域未来館・地域情報館をつくる（相談・情報交換できる場）
4	安全・安心	みなみ野交通安全協会の設置

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	大学生たちと一緒にふれあいの場を運営
	交流の場	学校施設を地域に開放（体育館、卓球室パソコン室など）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	市民センターみなみ野分館を活用した情報発信の場
2	医療・健康	夜間の医療の充実
3	学校・教育	PTAをつくる（市内の他の小学校と同様に）
4	交通インフラ	誰でも100円のバス（キャッシュレス）
		モノレールの設置
	都市計画・居住環境	みなみの駅前広場をつくる
	公園・緑地	公園の使用制限を緩和し、活用範囲を大きく広げる
5	雇用・就労	ワークライフバランス宣言シティ

校区の特徴

- 「地域主体」&「すぐにできる」が多く挙げられ、地域が主体的に地域の課題解決に取り組む意向ある。
- 地域住民を包括できるような交流・居場所づくり・情報発信・福祉の充実を目指す意見があった。
- 学校・企業・地域が連携した取組をさらに望む声があった。

(25) 七国中学校区

ありたい姿

いろいろな人がゆるやかにつながれるまち

七国の人
 がゆるやかに
 つながれるまち
 -子ども、お年寄り、現役世代、外国人、
 障害者、大学生、LGBT-



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

2グループで共通して挙げられた意見

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域での活動や発信、すぐ動ける協力体制づくり
		地域協働グループを作るよう地域に働きかける
	交流の場	自治会館を利用した交流機会の創出
		町会行事をはじめとした交流イベントの充実 小学校でのコミュニティの場づくり
3	学校・教育	地域運営学校をもっとアピールする
		卒業生も参加する学校の周年行事の実施
4	防災	七国中学校区全体が連携した防災訓練の実施 (中～大学生が主体となる場面を増やす)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	次世代への地域の担い手としての引き継ぎ
	大学・学生との連携	学生と地域が連携したDonDon祭り(子ども祭り)の復活
	情報(発信、共有、デジタル化)	地域の理想的な暮らしに向けた情報共有・発信 (メディア活用、アンケート実施など) オンラインの活用による情報発信 (例:大学生がインターネット(スマホ)を教えるオンラインサロン)
2	見守り・支え合い	「地域のお困りごとを聞きます!」助け合いの仕組みづくり (例:地域通貨やポイント制の導入)
3	子ども・子育て	地域内の大人が子どもたちの人間力を育むイベントの実施(例:1日体験)

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	場としての学校開放（例：毎週日曜日） （勉強、遊び、ゲーム、子ども食堂など、自由度の高い利用）
		学校の交代制（3ヵ月に1回ペース等）による場としての運営 （学生チーム、大人チームなど）
3	学校・教育	君田小学校の有効活用を市に働きかける（「考える会」などの発足を検討する）
4	防災	学校の防災訓練への地域住民の積極参加

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	学校の教室や図書室などを使った地域交流スペースの整備 （例：多世代が交流できる7792サロン）
4	公園・緑地	スポーツ公園、競技場、広場などの整備

○「行政主体」&「すぐにできる」

意見なし

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	学生（卒業生含）が内装などのデザイン可能な仕組みづくり （学校を活用するきっかけにつなげる）
3	学校・教育	学校に必要なものの整備 （冷暖房、コタツ、エアコン、扇風機、ネット環境など）
4	交通インフラ	圏央道へのバイパス道路の整備
		八王子みなみ野駅への多摩モノレールの延伸
		主要道路以外を通るコミュニティバスの整備
5	産業振興	主要なエリアでのスーパーや道の駅等の整備・誘致
	企業（誘致、支援、連携）	八王子みなみ野駅付近へのショッピングモールの誘致 みなみ野全体コミュニティの場の設置

校区の特徴

- 若年層にもっと地域に関わってもらいたいという意見があった。
- コミュニティの場として学校を活用するため、地域主体での運営手法を考えようという声が多くあった。
- 暮らしの環境の充実のため、交通インフラや買い物環境の整備を求める意見があった。

(26) 浅川中学校区

ありたい姿

若い人がつくる街で 高齢者も参加できる
街づくり

一生住みたいまち浅川



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	市民運動会の継続開催
		コミュニティ農園をつくる
	情報（発信、共有、デジタル化）	地域資源（菅原道真の像等）のPR
		ローカルお得情報をSNSで発信
交流の場	親子で参加できるイベント（花植え、収穫体験等）の定期開催	
	地域の交流の場（サロン、まちの縁側）をつくる（町会会館や空き家を活用）	
2	高齢者	高齢者が出来ることを収集・活用（畑、木、大工等）
		ボランティアドライバーが高齢者の移動をサポート
3	スポーツ・文化・生涯学習	地域資源の発掘・学びイベントを開催（浅川地区講座、歴史の宝さがし、自然資源のスタンプラリー等）
5	産業振興	食品や地域産品を販売する「マルシェ」を場所を変えて定期開催（599ミュージアム前、商業施設の店頭等）

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	見守り・支え合い	弱者の見守り
5	産業振興	夜遅くまで営業している店舗を増やす（働く世代の生活利便性向上）
6	自然・環境	ホタルが生息する環境づくり

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	八王子市や地域公式のSNSを作る SNSによるイベント情報等の発信（動画も活用）
	地域人材の育成	地域の人に声をかけられる若いリーダーの育成
6	自然・環境	ゴミのない美しいまちにする
		初沢山（栗山）の整備

○「協働」&「時間がかかる」

意見なし

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域づくりのノウハウを教える
	地域人材の育成	若い人を地域づくりに巻きこむ
	情報（発信、共有、デジタル化）	市の広報でイベント情報を発信
	意見交換の場	地域の今後を話し合う場に子育て世代の参加を要請する

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	助け合いのマッチングができる人材データ構築
	情報（発信、共有、デジタル化）	情報の発信拠点をつくる（幅広い年齢層に発信できるバス停留所に）
4	交通インフラ	移動をサポートする仕組みづくり
		駅からお店に直結する道づくり
		高尾駅自由通路の整備

校区の特徴

- 「地域主体」&「すぐにできる」が多く挙げられ、地域が主体的に課題解決に取り組む意向がある。
- 地域コミュニティの活性化や若い人材の育成、多世代の交流・助け合いを重視する声があった。
- 既存施設の活用に加えて、自然環境の整備・保全を期待する声が多くあった。

(27) 陵南中学校区

ありたい姿

あなたの街のコミュニティセンター
陵南中学校



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	近所の方同士であいさつし合う関係づくり
		運動会やお祭り等の地域活動への積極的な参加促進
		参加しやすい会議の設定（共働きでも参加できる時間設定等）
		若い世代がまずは参加したくなる町会
		積極的な声掛け（お誘い）による地域参加の入口づくり
2	高齢者	高齢者の地域における友人づくり・話し相手づくりの支援
3	子ども・子育て	子育てに両親ともに参加できる環境づくり
4	公園・緑地	住民みんなで公園の細かな整備へ参加（住民ができることを行う）

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	地域で活躍する人材・役割の見直し（町会、育成、青少対等）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
4	公園・緑地	公園における役割の整理・理解（住民、行政の双方）

○「協働」&「時間がかかる」

意見なし

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	要になる地域組織の編成
	地域の拠点づくり	地域で集まれる場（会館）としての中学校の開放 （多くの教室・部屋があり、地域に身近な存在 / 有償ボランティア等により地域人材が管理する）
2	暮らしの相談	陵南地区における電話等での相談窓口

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	地域で活躍できる人材の調査・整理
	行政運営	行政内の役割分担の整理
2	高齢者	地域で活躍する介護士人材の拡充（手当での充実）
3	子ども・子育て	保育園の地域開放
	学校・教育	自由学区の見直し（学区ごとに地域に根ざす人を増やす） 中学校の地域における目的・役割の共有 （中学校の先生にも理解してもらう）

校区の特徴

- 地域同士の昔ながらのつながりを大切にしたいという意向がある。
- 若い世代が地域活動の担い手として活躍してほしいとの意向があり、参加しやすい環境づくりが必要であるという意見があった。
- 行政に対しては、学校等を活動の場として提供するといったハード面の整備とともに、地域側で発掘できない人材の調査や整理、地域と行政との役割分担の整理などを求める声があった。

(28) 由木中学校区

ありたい姿

個性でつながる・支え合う より取り「緑」のライフスタイル ~ひとりひとりの確かな居場所~
すべての世代が豊かに暮らせる・自慢できる
由木 多様性を受け入れ魅力ある街



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」と「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	住民同士の声のかけあい
	交流の場	孤立している・しやすい方と一緒に近所の花（バラ、桜など）の鑑賞
2	見守り・支え合い	体が不自由な方の家の庭木・雑草の手入れ
4	都市計画・居住環境	空き家の美化・活用（コミュニティハウス、シェアハウス、駄菓子屋）
5	産業振興	マルシェ（地域の物産・住民の手作品の販売）
6	自然・環境	地域の清掃
		大通りの清掃

○「地域主体」と「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	由木まちづくりNPOの設立
	情報（発信、共有、デジタル化）	SNS（インスタグラム等）の活用・コンテストの開催
	交流の場	市民センターまつりの拡大（地元野菜の販売機会を増やす、駄菓子など子供の買い物体験の場、学校や地域団体と連携して交流の場とする等）

○「協働」と「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	公園を活用した活動・イベント（花の鑑賞会、どんど焼き、夏祭り、フラワーフェスティバル）
	地域人材の育成	市民ボランティアの調整役の設置
	大学・学生との連携	都立大カフェの復活
	情報（発信、共有、デジタル化）	ICT技術による参加促進
3	スポーツ・文化・生涯学習	八王子の芸術家と協働した街中のアート化（フェンス、公園など）
	学校・教育	学校行事への住民参加、学校公開（市民ボランティアが児童・生徒と一緒に給食を食べる等。表彰状等よりもモチベーションが上がり、子どもたちにとっても地域に感謝する機会となる） 学校安全ボランティア制度の拡充

都市像	分野	必要なこと
5	産業振興	生産緑地への援農ボランティア制度の適用
6	自然・環境	交流できる場、過ごしやすい場づくりと八王子市固有の自然の復活 (八王子の自然に詳しい人と交流しながら子供たちによる花植え活動等)
		雑木林管理への資金等の支援

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	多世代が交流できるコンビニのような店の設置
2	暮らしの相談	自治会館内に相談センターの設置(身近な場所で各種相談ができる環境)
		ソーシャルワーカーの配置
3	スポーツ・文化・生涯学習	多国籍フェスの開催実行委員をつくる
4	都市計画・居住環境	遊歩道の整備・映えスポット化(ベンチ、花、アートなど)
5	産業振興	八王子特産のみで構成するお歳暮・お中元セットづくり(由木ロールと野菜セット、和菓子と織物セットなど)
6	自然・環境	外来害獣・植物の駆除
		南大沢バイオマスセンター見学の学校カリキュラム化

○「行政主体」&「すぐにできる」

意見なし

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	小学校を住民が自由度高く使用できる多目的交流の場にする
4	交通インフラ	コミュニティバスによる交通利便性の向上
		丘陵地域のバス本数・時間の改善
	公園・緑地	保全緑地への指定管理者制度の導入
5	産業振興	コミュニティバスによる買い物ツアー(店以外の映えスポット巡り)
	雇用・就労	大学と企業が連携した就職マッチング
6	自然・環境	自然科学博物館の設置(資料の保管、専門家の養成)

校区の特徴

- 既存の地域活動をより活性化させ、豊かな自然を自慢できるように磨き上げ、広く発信していきたいと考える意見があった。
- 住民一人ひとりの個性・多様性の尊重と、地域内の人のつながりを両立することで、全ての世代が自分の居場所として豊かに暮らせる地域を目指したいという声があった。
- 身近な交流の場として、学校の開放やイベントの拡充、気軽に出かけることのできる交通整備、住民の手による街中の環境美化、八王子らしい自然の保全など、地域が主体となって取り組むことができるアイデアが多くあった。

(29) 松が谷中学校区

ありたい姿

4つの地域のつながりを活かした地域の活性化(おおまつり)



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	公共施設を使ったイベントの開催 (由木東市民センターを利用した習い事、展示会)
		若者(大学生)を巻き込んだイベントの開催
	交流の場	地域内交流(4地域)に寄与するイベントの開催 (祭り、フリーマーケット、スポーツ大会、音楽コンサート、盆踊り、グルメイベント、地域別の自慢大会、ウォークラリー、宝探し・自慢大会、ラジオ体操、農業体験等)
		地域外交交流(隣接地域との交流)
意見交換の場	各地域(4地域)のメンバーによる話し合い	
2	見守り・支え合い	買い物サポートサービス
3	子ども・子育て	子どもとママが集まれる憩いの場
		子どもの会の活動促進
	多文化共生	子供向けの多国籍・多文化交流(英会話など)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	大学・学生との連携
5	産業振興	商店街を核にした地域活性化

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	花火大会 (地域住民:花火大会にあわせた催し 行政:許可)
	意見交換の場	地域全体(4地区)で話し合う場を設定 (参加者:地域住民、行政、団体など 調整:行政)

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	地域を担うリーダーシップの育成
4	交通インフラ	交通整備（バスルートの拡充、コミュニティバスの運営）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	デジタル掲示板（地域内の情報共有）
		市民活動を支援する情報の発信、講演会等の開催
	行政運営	行政による住民の意見・ニーズ等の把握（住民アンケート、協議の場を設ける、相談窓口の設置等）
		行政が市民、各団体のまとめ役を担う

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	医療や交通等の広域課題について、他地域の行政と共有・連携
3	スポーツ・文化・生涯学習	放課後に利用できる子ども教室の運営
4	安全・安心	防犯カメラや街灯の拡充
5	産業振興	遊休スペースを活用した市民農園等の設置

校区の特徴

- 「地域主体」&「すぐにできる」が多く挙げられ、地域が主体的に課題解決に取り組む意向がある。
- 地域全体での交流、地域コミュニティの醸成を重視する意見が多くあった。
- 行政に対しては、団体間のパイプ役、市民活動の支援、地域情報の共有ツールの整備などを求める声があった。

(30) 中山中学校区

ありたい姿

人と人・人と情報をつなげる幸せな街
 とも
 共発達できるまち



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域「お散歩・資源マップ」づくり
	地域人材の育成	地域のITお助けマンの起ち上げ
	情報（発信、共有、デジタル化）	地元密着型の地域新聞の発行（地元の人に取材する）
		中山チャンネルの開設（YouTube、ツイッター、インスタ等のSNSで）
交流の場	地域特有問題解決アプリの開発（連絡、データヘルス、人材マッチング等）	
3	多文化共生	異文化コミュニケーションの推進 （地区での催し物のPR活動、日本での生活のあり方をアドバイスする機会、各国の料理で交流したり自国をPRする機会、自国語でのあいさつの実施等）
5	産業振興	野良の会設立（畑の整備や収穫祭BBQを行う）
		畑コーディネーター制度を創設、農地の有効活用を図る仕組みづくり（貸出等）

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	暮らしの相談	地域のチャットボット
3	子ども・子育て	赤ちゃんの頃から地域（近所）で見守り、親の交流をする場づくり （先輩ママの訪問→お悩み相談→今後も交流）
4	都市計画・居住環境	防災・医療介護・移動など、安心して暮らすことのできるインフラ整備
6	自然・環境	地域の緑を残し、自然を守る仕組みづくり

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	市内の様々な団体をつなぐネットワークづくり
	地域人材の育成	ITに強い人材育成
5	産業振興	八王子の名所を巡るミニ旅行の計画

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	医療・健康	介護等施設連携の健康データの管理システムの構築（例：ミルモネット）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	行政でプロジェクトを発足し担い手を公募する仕組み
	行政運営	市の関連部署との連携

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
3	学校・教育	子どもの教育予算の十分な確保（体育館にエアコン設置等）
		教員増員による少人数学級の実現
4	交通インフラ	広い歩道の整備
	都市計画・居住環境	空き家・空き教室の活用促進

校区の特徴

- 今ある自然を未来まで残していきたい、新しい人が転入しやすい開かれた地域でありたいという思いから、自然と人を絡めた交流のしくみなど、中山らしさを活かしたつながりを求める声があった。
- 情報技術の活用によって、地域住民のコミュニケーションを活性化し、アイデアを集約することで、様々な地域課題の解決を図っていきたいという声があった。
- 行政に対しては、教育設備の充実や空き家の利活用、歩道拡張などを求める声があった。

(31) 南大沢中学校区

ありたい姿

だれもがつながれる街 南大沢
 生きた声や今ある資産を活かし、つながり
 づくりの再チャレンジ



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	クラウドファンディングで情報発信の拠点を開設 (中郷公園のトイレの上の空間など)
	大学・学生との連携	大学の研究所と地域のタイアップ
	情報(発信、共有、デジタル化)	情報交流サイト「南大沢まとめサイト」の構築 (HP、Insta、Twitter、#南大沢等)
		既存のイベントを活用した情報発信
	意見交換の場	各団体リーダーによる意見交換会議の定期開催
3	子ども・子育て	中高生の居場所づくり
4	公園・緑地	日向緑地の活用

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	祭りにつながる
		(つながりを)作り続ける取り組み
2	見守り・支え合い	フードパントリー

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	移動可能な拠点(キッチンカーなど気軽に集える小さな拠点)
	情報(発信、共有、デジタル化)	インフォメーションセンターの設立(駅前、地域専用の掲示板)
		情報の共有、地域・市・都の連携
2	暮らしの相談	街の総合案内、相談できる場所
3	スポーツ・文化・生涯学習	昔からの行事の継承(お祭り、昔遊び等)
4	防災	学生・外国人・高齢者も参加できる楽しい防災イベント

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	地域のコンシェルジュ
6	自然・環境	良い環境・自然でもうける（南大沢の環境や自然は魅力的な資産であり、これを目的に人を呼びこめるポテンシャルをもった街である）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	都立大の学生とともに地域の居場所づくり
	行政運営	まちの中心づくり（情報、居場所、ワンストップの仕組み） 市民意見の取り入れ、市政に反映
3	学校・教育	部活動のスクラップ&ビルド（部活問題解決に向けて）
4	交通インフラ	南北をつなぐループバス（コミュニティバス）
	都市計画・居住環境	遊歩道の活用、スマートシティ構想の利用 サイクリング等、南大沢というまちの魅力づくり

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	情報発信ステーションの開設（中郷公園、南大沢文化センター内など）
5	雇用・就労	学生が卒業後、地域に定着する仕組みづくり

校区の特徴

- 駅前の歩車分離、都立大学、スマートシティ構想など、恵まれた環境を活かしたいという声が多くあった。
- 子ども、高齢者、学生、障害者、外国人など多様な人々が困ることなく暮らし、つながりを持てるよう、ワンストップの相談窓口や、つなぐ役割としてのコンシェルジュを求める声があった。
- 地域では、多くの活動が行われているものの、情報共有が不十分で連携できていないことに課題を感じており、駅前に地域の掲示板や情報発信ステーションを設置したいとの意見があった。
- 情報を地域で一元的に集約することで、つながりが生まれるという意見があった。

(32) 宮上中学校区

ありたい姿

多世代がつながり 助け合うまち
宮上中学校区

学校に地域住民の学びを集約して
発信の拠点に



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	学生の受入拠点づくり
	交流の場	ふれ合いの場づくり（コインランドリー等） 地域住民が授業（部活）をサポートできる機会づくり （全年代が互いに教え合い学び合える場づくり）
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	学校に隣接した学びの場づくり
		地域の教室を企画・開催（スマホ教室、料理教室等）
4	防災	参加しやすい防災訓練の実施
		防災訓練と娯楽イベントを合同開催
		防災イベントを学校で開催（学校に多世代が集まる機会づくり）
5	産業振興	地域商品づくり （料理教室でできたパン・惣菜や、スマホ教室で制作した画像の商品化）

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
6	自然・環境	自然を共有できるキャンプ場の整備（雇用創出）
		学生と地域住民が交流できるゲストハウスの開設

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	補助金の有効活用（地域主体の活動において）
	地域の拠点づくり	常設サロン（カフェ）の開設（ショッピングセンター内の空き店舗活用）
	情報（発信、共有、 デジタル化）	伝言板の設置（駅前のショッピングセンターで地域情報を発信）
		[学校を拠点に]地域情報の集約・発信
	交流の場	交流の場を設置（図書館、公園）
2	見守り・支え合い	[学校を拠点に]地域食堂の開設
4	防災	大学と防災協力

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	コーディネーターの育成・確保 (地域についてなんでも相談できる相談役、情報収集・発信を担う人材の育成)
2	医療・健康	訪問診療の情報一元化

○「行政主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	集会所の設備等の充実
	情報(発信、共有、デジタル化)	オンライン・バーチャルのサロン開設(大学生の技術を活用)
		市の情報のスムーズな伝達
		オンラインの市政QAデータベースの整備
2	見守り・支え合い	学校食堂の実施(誰でも給食を食べられる)
3	子ども・子育て	学童の開設(空いている施設で)
	学校・教育	学校開放のルール緩和
4	交通インフラ	地域内の移動手段の整備 (シェア・サイクル、レンタ・サイクル(電動)、超小型モビリティ)
5	企業(誘致、支援、連携)	企業と地域の連携をコーディネートする市の窓口設置

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	学校を地域に開放し、地域の拠点として活用 (中学校を開放して多世代の交流の場として活用、新しい文教都市づくりを目指す)
	情報(発信、共有、デジタル化)	テレビ電話の整備(119番)
2	医療・健康	オンライン診療の整備・拡大
4	交通インフラ	モノレールの延伸

校区の特徴

- 住みやすく魅力的なまちをさらに良くしたい、住み続けていきたいという声が多くあった。
- 多世代での交流・つながりが生まれる場づくり、拠点づくりへの意見が多くあった。
- 地域と大学や企業との連携に向けた取組が望まれており、行政による産学官の調整や柔軟な連携体制などの対応を期待する声があった。

(33) 別所中学校区

ありたい姿

子どもから高齢者まであらゆる世代がつながる ~ 自然に学び自然とともに生活できる、健康で生涯学べる町づくり ~

自然、歴史、文化を守りながら、誰もが集い、助け合える思いやりの街♥別所♥



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」と「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域全体にあいさつ運動を拡大 既存の地域活動同士の連携、ネットワーク化
	地域の拠点づくり	コミュニティカフェ、コミュニティスペースの開設・運営
	地域人材の育成	地域まきこみ型になれるボランティア隊募集
	情報（発信、共有、デジタル化）	まちの魅力マップの制作やSNSでの魅力発信
	交流の場	子ども・高齢者・外国人などだれもが同じようにコミュニケーションできる場づくり
2	見守り・支え合い	子ども食堂・大人食堂・フードパントリーの開設・運営
3	子ども・子育て	学びの格差をなくすべく、「学童寺子屋」の創設
	スポーツ・文化・生涯学習	「歴史」勉強会の実施 近くにミニ図書館の開設
4	公園・緑地	公園案内マップの制作、公園スタンプラリーなどの企画
	安全・安心	地域の安心のため、シルバーパトロール隊の結成

○「地域主体」と「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報	「別所テレビ」の開設・放映
3	スポーツ・文化・生涯学習	魅力ある（オシャレなど）地域学習の場づくり
		「別所地区版」市民講座の開催
5	産業振興	人が集まる道の駅の設置

○「協働」と「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	世代間を越えた地域の人が集まる会議体の定期的開催
	情報（発信、共有、デジタル化）	堀之内・別所地区のまとめサイト（SNS）の発信（雇用・コミュニティ・店舗情報・イベント情報など）
3	スポーツ・文化・生涯学習	歴史と文化を共有する機会づくり
	学校・教育	学校と地域をつなぐ学校コーディネーターの育成 各学校に地域サポーター登録制度の導入（地域の人が協力できる）
4	公園・緑地	公園めぐり・散策の行事化
6	自然・環境	子どもたちの環境学習の支援体制づくり

○「協働」&「時間がかかる」

意見なし

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
2	医療・健康	別所地区での「健康の日」設定、行事の実施
	見守り・支え合い	シニア・学生・他ボランティアサークル（有償・無償）の創設
	暮らしの相談	別所「いのちの電話」の設置
3	スポーツ・文化・生涯学習	健康で生涯学べる町づくりの推進
		地域の伝統であるメカイづくりを学ぶ
		学びの拠点となるような郷土資料館の充実
		出張バス型図書館の開始
	メカイを無形民俗文化財の指定へ	
学校・教育	学校公開日を増やす・図書館の開放	
5	雇用・就労	短時間勤務の雇用の創出
6	自然・環境	環境保全活動団体の育成・支援
		自然に学びながら、自然との共生を推進

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	堀之内駅前に市民センター開設（役所手続、図書館、相談、会議室、交流、ボランティア）
		各学校に地域活動用の空き教室確保
	大学・学生との連携	「いちょう」塾を再編し、八王子大学構想の実現（市内の各大学を自由に行き来できるなど）
3	情報（発信、共有、デジタル化）	無料で集まることができる場所などの情報をまとめるなど、住民に必要な情報があつまる仕組みづくり
	スポーツ・文化・生涯学習	市民講師・市民ファシリテーターの養成
4	学校・教育	小・中学校での地域学習の見直し（保護者、PTA、地域の方のサポートを増やす）
		防災
	交通インフラ	多摩モノレールの延伸、はちバスの設置 住民（子ども、高齢者、身体弱者）が安全に歩ける道の整備、自転車と歩行者を分離するための自転車専用道路の設置、バリアフリー化

校区の特徴

- マンションも多く、子育てなどに関して地域の人々の力を借りたいという思いもあるが、地域の人をあまり知らないという声があった。また、地域の担い手が高齢化してきているため、多世代によるつながりの創出や顔見知りの関係になることを求める声があった。
- 地域学習や生涯学習など、学びに関する意見が多くあった。
- 歴史や民俗・風土、伝統文化継承を守り、それを若い世代に教えつなげていきたいという声が多くあった。

(34) 上柚木中学校区

ありたい姿

多世代でつながり助け合える上柚木
 ~ 住みやすい・住み続けたいと思える安心
 安全なまち、今あるものを活用した魅力あ
 るまち ~



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	大学生によるオンラインイベントを小学校で開催
	情報（発信、共有、デジタル化）	地域で手助けして欲しいことを大学生に伝えるポータルサイトの構築
	交流の場	市民センターで住民が協力して交流の場をつくる 小学校・中学校を活用して地域の交流の場にする
3	子ども・子育て	勉強場所の開放・増設（団地の集会所、空き家活用）
		子どもたちが自由に遊べる場所の整備（既存施設活用、定期イベント開催）
5	産業振興	駅前にインスタ映えスポットをつくる

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	美術館・ギャラリーを開設して地域交流の場とする
	行政運営	自治会・PTA・行政等の連携体制づくり（災害、教育、介護等） 近隣他市と協力して多摩ニュータウン地区のブランド向上のPR実施（自然環境、災害に強い町、安定した地盤等をアピールする）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
2	見守り・支え合い	ボランティアをやりたい人と手助けしてほしい人をつなぐシステム構築
5	雇用・就労	市内大学の学生が市内企業に就職しやすくなるようにサポート

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	高齢者	高齢者用タクシー・バスの整備
3	スポーツ・文化・生涯学習	放課後子ども教室の活用（地域の人や学生が子ども達に教える、学習アドバイザーになる）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	市が手助けして欲しいことを市民に伝えるポータルサイト構築（大学生にインスタ映えスポットのデザインを依頼するなど）
	交流の場	市のホームページをわかりやすく改善 学校施設を活用して地域交流の場をつくる
2	高齢者	高齢者向けのイベント（保健センター、保健所）に学生も参加
	暮らしの相談	市民センターに図書館の窓口・市民相談窓口を設置
3	スポーツ・文化・生涯学習	図書館を身近に感じて本を読む文化を広げる
5	産業振興	映画・ドラマなどのロケ誘致

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	市役所の相談窓口の一元化（1つの窓口から適切な課につないでくれる）
3	スポーツ・文化・生涯学習	図書館の整備（勉強できるスペースがあり、チューターがいる） 大学生・高校生が自由に活用して交流できるスポーツのコート整備（バスケット、サッカー・フットサルなど）
	学校・教育	安心安全な通学路の見直し・確保
4	交通インフラ	コミュニティバス 高齢者・障害者が移動できるバリアフリーな町・道路
	公園・緑地	公園に屋内でも子どもが遊べる場所をつくる
5	企業（誘致、支援、連携）	企業・オフィスの誘致

校区の特徴

- 近隣の大学に通う学生など、若い世代に定住してもらうため、多世代交流やつながりづくり、企業誘致やニュータウンの魅力を高めるなどの意見が多くあった。
- 高齢になっても住み続けられることについて期待する声があった。
- 既存施設や人材を活用した交流の場や居場所づくりについて、地域が主体的に取り組む活動などの意見も多くあった。

(35) 松木中学校区

ありたい姿

みんなが幸せになるつながり

自然豊かな公園を核にしたコミュニティ
= つながりのみえるまち



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域会議を開催し、地区の未来のストーリーを作る（子供も参加）
		多世代で参加できるイベント・祭りの実施（背景の周知）
		テーマ別のウォーキング会（自然、歴史、植物、木など）
	地域の人材育成	コーディネーターや地域学校協働活動推進員 + αの連携
	交流の場	公園を使った多世代の居場所づくり（ゲートボールなど）
2	見守り・支え合い	困りごとを知る・支えるための勉強会・ワークショップの開催
4	防災	防災訓練の実施

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	公園・緑地	公園にカフェやビアガーデンを開設 （大学生や高齢者、子供と一緒にいられる場）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	地域の団体がつながるための連絡会
		小中学校にカフェスペースを設置し交流の場に
		長期休暇中の校舎を開放しイベント実施
		子供と年配の方々との知識交流会
6	自然・環境	自然環境を残すための専門知識・ボランティアの協働

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	公園・緑地	オープンテラス付きのカフェの設置（長池公園、松木公園）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	行政が持っている・知っている先進事例の共有
2	見守り・支え合い	ボランティアしやすい場の創出 (ボランティアセンターの活用・窓口の明確化)
4	公園・緑地	蓮生寺公園の整備（利用しやすい環境整備、展望台の復活）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	プチ公民館・プチ児童館の設置
	行政運営	市民活動への活動場所の提供、資金補助
4	公園・緑地	常設のプレイパークを設置（子供が自由に遊べる場）
		公園に自由に立ち寄れるカフェ（持ち込み自由）を設置
5	企業（誘致、支援、連携）	企業との連携
6	自然・環境	自然に関する相談窓口の設置

校区の特徴

- 豊かな自然のある公園などを活かした取組に対する意見が多くあった。
- 地域内でのつながりの希薄化に課題意識があり、つながるしくみづくりに対する意見が多くあった。
- 新たに転入された方や、古くから住む方が混在する地域であり、地域住民や地域団体の連携に対する意見があった。

(36) 鏡水中学校区

ありたい姿

多様な世代の交流「これまでとこれからの
チーム鏡水」躍動する鏡水!!



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	鏡水同好会の創設（ハイキング、ガーデニング、野菜作り等）
		講習会、セミナー開催（料理、ガーデニング、ソーイング等）
		大栗川、大田川との共生→大栗川沿にコミュニティの和（輪）を広げる
	交流の場	フリーマーケット開催（手作り品等）
		地域運動会の開催
		鏡水でイベント（世代を超えて交流できるイベント）
2	見守り・支えあい	安心して暮らせるよう、声かけや見守りをする
5	産業振興	鏡水の野菜・花販売会
6	自然・環境	地域一斉デーの創設（清掃、教育等）

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	タウン誌+HP、SNSで情報発信
4	都市計画・居住環境	空き家、空き地を活用する
5	産業振興	レストランを中心とした由木村ブランドづくり

○「協働」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	町会結成、参加者への魅力発信や理解促進
3	スポーツ・文化・生涯学習	学校の体育館等の活用（スポーツの同好者が集まりやすくする）

○「協働」&「時間がかかる」

意見なし

○「行政主体」&「すぐにはできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	活動拠点づくり
	行政運営	推進体制の構築、市職員OBの活用

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	情報発信の拠点づくり
2	医療・健康	大規模病院の設置
4	安全・安心	遊歩道等の街灯設置
5	産業振興	鑑水ブランドの創設（果物、ブルーベリー、ワイン等）

校区の特徴

- 住民のさらなる地域活動への参加を期待したいという声があった。
- 地域における世代を超えたつながりや、地域交流の活性化、「鑑水」を冠したブランド化などの取組に対する意見が多くあった。
- 地域主体だけですべての課題などに取り組むことは難しいため、初動時には、行政にも関わってほしいという意見があった。

(37)いずみの森義務教育学校区

ありたい姿

「八王子に住んで幸せだ」と思える場所が
いっぱいのもち

誰もが家族になれるまち



2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	いずみの森を中心とした地域主導による居場所づくり、子育て 人と市の支援（相談や補助金）があればすぐできる
		使われていない場所の有効活用（活動や集まれる場所等）
	情報（発信、共有、 デジタル化）	SNS等を学ぶ機会の提供
	交流の場	子供達と高齢者の交流の場を（施設を含む）
		ゆるやかなつながりづくり
		子供の遊び場や交流の機会（ワークショップ等）づくり
老人会のグラウンドゴルフ等をまとめた大会の実施		
	イベントの開催、いずみの森フェスティバルを地域も加わって開催	
	校庭を活用した夏祭り	
3	学校・教育	子供達の居場所「いずみの森コミュニティスペース」
		いずみの森の9学年のつながりをいかす

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	子育てが終わっても続くつながりづくり PTA役員OB、おやじの会OB等
	地域の人材育成	地域の活動資金を地域で集め、地域の人財を地域で育てる仕組みづくり
	交流の場	新しいグラウンドを活用した祭りの実施

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	八王子に人が集まってくるイベントづくり （八王子ロック、八王子まつり、八王子独自のイベント）
	意見交換の場	地域、行政を交えた話し合いの場づくり
2	高齢者	元気な高齢者が集えるコミュニティの場をつくる（八王子健康体操）
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	学校でできる子ども支援を充実させる（放課後子ども教室、夏祭り）

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	学校の長期休暇を活用した、多世代の居場所づくり 希望があれば学校の給食室で作られた昼食を食べられる
3	スポーツ・文化・生涯学習	JR八王子駅南口で吹奏楽のパレードイベントを開催する
4	防災	防災の地域化
	景観・まちなみ	使われていない店舗等の活用による町並みの活性化

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	市立中学校の給食導入状況や部活動情報等のウェブサイト等での公開 医療刑務所跡地活用方法についての行政によるこまめな情報公開
	行政運営	地域活動等における手続の簡略化
2	見守り・支え合い	助けを必要としている人とできる人のつながりづくり（コンサルタント）
4	景観・まちなみ	ベンチの設置

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	回覧板のペーパーレス化、LINE等の活用
	行政運営	活動団体に予算と権限の委譲
3	子ども・子育て	子供が自由に遊べる場所の設置
	スポーツ・文化・生涯学習	すべての小学校区で放課後の安全な居場所づくり
	学校・教育	すべての中学校で学校給食の実施 障害があっても学区の小中学校へ通うことができる環境づくり
4	都市計画・居住環境	地域で運営可能な複合施設としての医療刑務所跡地の整備 児童館、公園、コミュニティスペース等
	公園・緑地	空地を活用し公園の増設
5	産業振興	デパート等大型商業施設（モール系）の開業
	企業（誘致、支援、連携）	ベンチャー企業の誘致 大学生のマンパワーを活かす企画づくり、八王子企業と学生をつなげる仕組みづくり

校区の特徴

- 地域内でのつながりづくりに関心が高く、同世代に限らず、各世代がつながり、地域活動等に関心が薄い人も関わりの持てるような交流の機会・しくみづくりなどを求める声があった。
- いずみの森義務教育学校を軸に、子どもたちの居場所づくりや、多世代が交流できるイベントの実施などを求める声があった。
- 医療刑務所跡地の将来的な活用について、公園、コミュニティスペース等、地域と行政が協働して運営できる複合的なスペースが望む意見があった。
- 地域人材など、まずは地域でできることから進めていきたいという意見があった。

5 長期ビジョンの策定に向けて

(1) 長期ビジョンとは

本市の基本構想・基本計画である「八王子ビジョン2022」の基本計画部分が、令和4年度(2022年度)に計画期間を終えるため、令和22年(2040年)を展望した計画として策定する次期最上位計画です。

(2) 中学校区別ワークショップの位置付け

ワークショップは、「地域づくり推進事業」と「長期ビジョンの策定」との合同事業として実施しました。

「長期ビジョン」では、市民の皆様と共感できる目標を定め、その実現に向けて共に取り組んでいくことを目指しています。策定過程においては、多くの意見や考えを聴取するため、市民アンケートなど様々な市民参加手法を取り入れており、ワークショップはその手法の一つとして、位置付けています。

(3) 中学校区別ワークショップから見えてきたこと

ア 地域のありたい姿に欠かせないもの

時代とともに方法は変わりつつあるものの、「つながり」や「多世代による交流」、「助け合い」が必要であるといった声が多くありました。2040年の地域のありたい姿を議論する中で、「地域を活性化させていくためにも様々な人がつながるような場が必要である」ことや、「将来の主演である子どもたちに愛着を持ってもらうためには、地域の人々との交流を通して地域で育てていくことが欠かせない」など、人とひととのつながりが根幹にあることを確認できました。

イ 未来へとつなぐ「市民力・地域力」

地域のありたい姿の実現に向けて必要なことについては、地域がこれまでに実践されてきた経験を踏まえ、地域の個性が現れた様々なありたい姿が描かれ、地域特性を活かしながら自ら取り組んでいく内容が多くありました。活発な議論は「市民力・地域力」の証であり、「市民との協働」を基調とした本市の歩みが市民の皆様浸透していることを確認できました。

(4) 地域の特性を活かしたまちづくり

本市では、市域を6つに区分して、それぞれの地域の個性をつなぎ、重ね合わせ、市民と行政との協働により八王子のまちづくりを行うことを基本方針としています。そのうえで、日常生活において顔の見える関係性をつくりやすい中学校区を地域で抱える課題を共有し、合意形成を図り解決していく基礎単位として取組を進めています。

今後、地域の自主的な活動をより活性化できるよう、行政は地域のニーズを捉え、地域にあった必要なサポートをする役割がより一層求められています。

今回のワークショップでは、市職員がファシリテーターを担い、地域の皆様と直接対話をしたことで、「多様な地域資源の魅力」、「地域力の強さ」に改めて触れることができました。

「地域づくり」を進化・発展させていくため、行政としての役割と責任を明確にし、地域から信頼が得られるよう全庁一丸となって、取り組む必要があります。

最後に

本市の基本構想・基本計画の大きな柱は「人とひととの支え合い、つながり」と市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」です。これまでに培われた市民との協働は、市民と共に自らの責任で進むべき方向を決め、自立したまちづくりを進めていくにあたって、これからも欠かすことができない重要なものです。

今後、更なる協働の関係性を築き上げていくためには、市職員が地域との対話を重ねることに加え、市民と行政が共通の目標を持ち、それに向かって歩いていくことが必要です。今も、これからも、「市民力・地域力」を発揮した「地域づくり」が、持続可能なまちづくりに向けた推進力となるよう、地域の思いを紡ぎ、長期ビジョンを策定していきます。

中学校区別ワークショップ報告書

令和3年(2021年)9月

発行	八王子市 未来デザイン室
住所	〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話	042-620-7307
F A X	042-627-5939
M a i l	b620000@city.hachioji.tokyo.jp

あなたのみちを、
あるけるまち。

